

# 『にいがたの教育情報』総目次

(創刊号〜第二一五号)

## 創刊号 (1983・1)

### 「メッセージ」

人間の本质をふまえた多様な実践を  
「新潟の教育情報」の発刊をよろこぶ

川合 章  
本間 繁輝

### 「特集」新潟県の暴力・非行を考える

荒れる中学生  
自治的な力量を高める生徒会活動  
新潟県の子供の非行・問題行動を考える

溝井 秀雄  
富樫 繁春  
木村 隆利

生徒名簿提供問題によせて  
新しい精神文化の構築を

八木 三男  
坂東 克彦

### 「書評」

藤井英夫著「ほえろチビ」  
県医師会編「明るく逞しい成長のために」

高橋 武昌  
片岡 弘

### 「還流」

わかりたいという意欲の強烈な表現  
出稼ぎを見る子どもの目  
子育て懇談会から

佐藤 守正  
村山 紘  
赤城 富美子

子どもたちが「心を開いてくれる」

教師・学校だったのだろうか

〈高校学習会〉第十二回夏季大学習会

私教連夏のつどい

題二十九回新潟県母親大会から

題二十九回母と女教師の会北新集会を終えて

第十五回全国保育合研に参加して

教育科学研究会高知大会に参加して

本田 敏彦  
三ツ井 富士夫  
本間 藤四朗  
長井 洋子  
須田 明子  
佐藤 郁子  
高山 怜

## 2号 (1984・6)

### 「メッセージ」

すべての子供たちに

「人間として生きることの味を」!

便りによせて

斎藤 浩志  
松崎 道子

### 「特集」新潟県の道徳教育を考える

新潟県の子ども・青年の生活と道徳教育

ゆたかな人間性の形成をめざして

(詩のきょうしつの実践から)

教科書問題と道徳教育

首藤 隆司  
津幡 龍峰  
宇田川 宏

教育への提言

平田 大六

非行克服に切り込む実践を

「詩のきょうしつ」の実践を読む

「新潟水俣学校」に学ぶ

〔書評〕

高橋 直栄著『母村と離村者のゆくえ』

「働き学ぶ生徒と教師 定時制高校の集団づくり」

首藤 隆司著

〔感想〕

「新潟の教育情報」創刊号の感想

創刊号を読んで

登校拒否児二人をかかえて

〔還流〕

あたりまえのこともあたりまえに話せること

沼波 貞夫

阿部 好策

吉田 三男

長崎 明

宮本 敏

小森 唯一

高橋 唯坦

丸山 喬子

河合 靖久

### 3号 (1984・9)

〔メッセージ〕

肩の力をぬいて

中野 芳彦

〔特集〕新潟県の進路・進学問題

最近の高校入試改革の動向

中学校の進路・進学問題

職業高校における進路・進学問題

八木 三男

上村 啓

細川 勉

### 4号 (1984・12)

〔メッセージ〕

学校づくりの課題と研究所への期待

生まれも育ちも新潟三区

大槻 健

大塚 達男

進路・進学と私 「子どもの声・父母の声」 その①

進路・進学と私 「子どもの声・父母の声」 その② 会田 雅子

進路・進学と私 「子どもの声・父母の声」 その③ 井合 チトセ

16才の少年M

日常診療の中より

kに学びkとともに新しい歩みを

関川 智子

〔書評〕

斎藤浩志・黒敷次男「親と教師のための教育学」

本間ヨリ著「いばらいちごの詩」

岩島 昭二

〔感想〕

資料室コーナーに期待する

教育情報を読んで

涌井 好一

私と読書

P T A活動を考える

赤城 正男

中村 周而

高木 伸二

「特集」 新潟県の学校を考える

〈座談会〉 いま新潟県の保育園・学校は

佐藤郁子・佐藤勝・長谷川正也・本田敏彦・阿部好策

できるところから始めて

様変わりしつつある実態に対応する中から

黒埼高校の挑戦―新設校10年のあゆみ―

新潟県の学校は、今どうなっているか

〈学校訪問記〉 よみがえる能生中学校

稲葉正美 研究所  
金子英二 小島寿夫  
小島隆利 木村又次郎  
若月

まず隠す学校病の克服について

私学運動の今までとこれから (第一回)

Tと私の育ち合い

My Hopes and Dreams

佐藤正 本間藤四郎  
小林光子 長谷川武夫

〔書評〕

父母と共に学ぶために「教育は共育で」

(大塚達男著)

小堺正司

〔感想〕

「高校でネバ相手にされネモン」

「新潟の教育情報」の続刊を期待して

学校が保障すべきもの

〔還流〕

あすなる塾の新しい出発

頭で育てない私の育児

土田光男 高橋鉄栄 深沢広明  
向後泰彦 成島陽子

5号 (1985・3)

「メッセージ」

人間教育の本流に棹さして

志摩 隔 伍

「いがた県民教育研究所設立総会講演」

私たちのぞむ教育改革

太田 堯

「記念講演感想文」

太田氏の講演

太田氏の講演を聞いて

今安和彦 笹川礼子

「特集」 いま新潟県の教師に期待するもの

〈座談会〉 いま新潟県の教師は

小熊隆・吉田三男・長谷川周寿・駒野輝次・坂下邦彦

〈教師に対する各界の期待〉

体験的教師論

〈教師に対する各界の期待〉

塾教師から学校教師への期待

〈教師に対する各界の期待〉

いま新潟県の教師に期待するもの

〈教師に対する各界の期待〉

研究 所 板垣 清 向後 泰彦 小林 昭三

私学教師とその組合の立場から  
〔教師に対する各界の期待〕

田村 誓

「アモシカ教師」礼賛

若杉 正

〔教師論〕教師へ期待するもの

―民主教育の担い手として

坂本典子

〔期待にこたえる実践〕

やさしさを育てる

中野 薫

〔期待にこたえる実践〕

学校生活を楽しく意欲的なものにするために

半戸 義雄

〔期待にこたえる実践〕

文化祭で「アフリカの飢えと重縮」展にとりくんで

久保田 幸雄

〔感想〕

自分の問題として考える

山崎 徹

〔還流〕

犬の死と息子たち

佐藤佳子

〔読者の声〕

示唆に富む「座談会」と能生中レポート

大金辰三

6号 (1985・7)

〔メッセージ〕

地域に根ざす教育と教育研究所

三上昭彦

〔特集〕新潟県の地域と教育

〈座談会〉新潟県の地域と教育・学校・教師

〈千溝小学校統廃合問題を考える〉

松永次郎・大平育雄・川上耕・木村隆利・佐藤賢

研究所

教師に期待するもの

畔上悦郎

健全なエネルギー結集に教師集団のイニシア発揮を

小笠原博

新潟県の学校はいまどうなっているか

木村隆利

教育瑣談

阿部省三

クリーム豆腐ができた

向後秀子

〔小説〕

少年の口笛

重澤修三

〔書評〕

「地域に根ざす教育と社会科」を読んで

小野義栄

〔感想〕

当然すぎることをじっくりと

磯野修二

〔随想〕

社会的成熟

今井博

7号 (1985・10)

〔メッセージ〕

子どもに人間的な発達の危機を克服する人間的な関係の創造を

円田義英

〔特集〕新潟県の子ども・青年をどうつくりだせるか

両親と保育所とともに、子育ての輪を広げよう  
私の子育て論―失敗から学び成長する子どもに  
いま、子どもをどうとらえるか

丸山初代  
板橋育夫  
荒木一貞

公立高校生をどうとらえるか 県高教組

「非行・学力」専門委員会報告」を中心に  
偏差値の谷底から

西 鴻 昇  
佐 藤 恒 夫

現代学生の姿とそれを取り巻く諸問題

―教育学部生を中心に

鈴木賢治

子どもの発見

―生命はそこの中に欠如を抱き

吉田三男

盲成人施設を作る親の会「のぎく会」について

山川蒼生子

## 8号 (1985・12)

### 「特集」管理体制の中の子ども

管理主義と子どもの発達

―いじめを育んだ管理主義教育

阿部好策

現場からの報告

―いま管理体制化の学校では

山田昇

現場からの報告

―周囲に見られる中学の様子

井上士

現場からの報告

―当校における諸規制について

本間勝

県民の望む学校

―子どものために学校と地域父母の一体化を願って

高木伸二

教職員組合の教育運動

―子どもが生き生きする学校の再生をめざして

長谷川正也

学校の子どもの人権（インタビュー）

中村洋二郎氏・土屋俊幸氏に聞く

若月又二郎

4人の子育て学校

星アキ子

〔随想〕

この子の親として

澤原咲子

〔小説〕

少年の口笛（二）

重澤修三

## 9号 (1986・4)

### 「特集」臨教審と子ども・親

教育臨調は日本の教育をどれほど荒廃させるだろうか

小林昭三

開発のなかでの子どもたち

― 地域の「子ども会」にかかわって ― 手島 勇平  
教育を父母・国民の手に

― 豊かな子どもを育てる私たちの実践を大きな流れに

高橋 武昌

― 県民・父母はどのような「教育改革」を望んでいるか

保田小学校の父母の声から

木村 隆利

今日のイギリスにおける教育改革 (八木 三男訳)

ブライアン・サイモン

学級通信と私

加藤 コト

〔小説〕

少年の口笛(二)

重澤 修三

子どもをどうしたらえるか

(第1回) 県教研「能力・発達」分科会10年間の論議から

片岡 弘

〔書評〕

『地域開発と教育の理論』

長崎 明

新潟県教育における「学閥」問題

(にいがた県民教育研究所学閥研究会)

〔学閥〕研究会

〔特集〕

一人ひとりの子どもを大切に  
する

子育て・教育 子ども・学校・地域

研究所

〔特集〕 地域から日本の教育を考える

学校地域からの民主教育創造を

大規 健

〔特集〕 歓迎の挨拶にかえて

新潟水俣病を教材にする意味

吉田 三男

〔シンポジウム〕一人ひとりの子どもを大切に  
する子育て・教育

全体会

はじめのことば

「時代の貧困」と子どもの人権

子どもの人権と地域

子どもの学習権と都教組運動

おわりのことば

新潟からの報告

新潟県の子どもと教育

阿部 好策

足立 定夫

八木 三男

石川 二郎

阿部 好策

木村 隆利

臨時増刊号

(1986・6)

分科会・実践報告

乳幼児の子育てと発達

「あそび教室」から子育ての問題

手島 幸子

子ども・青年の健康づくり

健康に、よりすこやかに、よりたくましく

長野中央病院小児科一同

豊かな人間性の形成をめざして

全校詩集「詩のきょうしつ」二年間のあゆみ

津幡 龍峰

地域教育運動の現状とこれから

高橋 武昌

今次交流研の成果と課題

現代の子どもをどうとらえ、教育実践、研究をどうすすめるか

小田切 正

あとがきにかえて

宮本 徹

11号 (1986・7)

【特集】子どもの生活と人権

子どもの人権と子育て

「部室火災事件から学ぶ」少年Aの担任からの報告

坂本 典子

林 昌子

学校生活と子どもの人権をめぐる

足立 定夫

子ども讃歌

三條 美枝子

子どもをどうとらえるか(第2回)

県教研「能力・発達分科会」10年間の論議から

片岡 弘

新潟県教育界における「学閥」問題(第2回)

「学閥」研究会

子どもの基礎学力の実態

燕市の洋食器産業

末武 勝

本田了一・早渡伊一

【書評】

『越後がつこう物語』

『鬼灯の唄』

【小説】

少年の口笛(最終回)

東海林 余志郎

駒村 励吾

重澤 修三

12号 (1986・11)

【特集】放課後の子ども

運動クラブ活動の問題と課題

西蒲原・燕地域にみられる小学校の課外体育

勝敗主義の「部活」からみんなで築く「部活」へ

円田 善英

亀山 淳

本田 敏彦

学童保育の現状と課題

大塚 達彦

学童保育―生き生きとした放課後をめざして―

岩崎禮子

13号

(1987・3)

「メッセージ」

「にいがた県民教育所」からみた地域

八木三男

独創の精神を培う理科教育をいかにして創造するか

安田庵地層を教材化しての実践のなから

荒木繁雄

許せない国鉄の分割・民営化

足立定夫

国鉄の分割・民営化に立ち向かう

神田俊次

子どもをどうとらえるか(第3回)

県教研「能力・発達分科会」10年間の論議から

片岡弘

新潟県教育界における「学閥」問題(第3回)

「学閥」研究会

いま、教員採用が危ない

鈴木賢治

【書評】

『聞き書 新潟の食事』

阿部照美

特別号

(1987・2)

新潟県のいじめ白書

いじめはなくせる

研究所

【特集】地域と教育力 ―大江山特集

大江山地区子育て教育運動の課題

高橋武昌

1 育ちあう地域の子どもたち

2 松葉保育園づくり運動と地域の自治

3 地域ぐるみ子育てをめざして

佐藤一弥・高橋武昌

地域開発と地域の教育力

福島達夫

松代作文の会とかかわって

村山正子

破たんした新潟東港工業開発計画

松山雄二

【書評】

「未来みつめる農場土とたいようのめぐみに生きる」10

中野芳彦

独創性を培う理科教育

地域の自然、安田庵地層を教材にして(その2)

荒木繁雄

子どもをどうとらえるか(第4回)

県教研「能力・発達分科会」10年間の論議から

片岡弘

新潟県教育界における「学閥」問題(第4回)

「学閥」研究会

〔特集〕 集団と人間発達

応答的關係の人間らしさを  
M君を変えた学級集団  
集団の中で育つ子どもたち

深 沢 弘 明  
宇 貝 博  
関 谷 美 恵 子

地域に根ざした子育てネットワークづくりを

丸 山 初 代

日本の未来を暗示する長岡テクノポリス(一)

長岡ニュータウン構想

馬 場 清

〔セミナー〕 「地域は遺髪と地域の教育」に参加して

先ず隣人を愛することから  
井 村 英 樹

若者の力で真の地域開発を  
羽 田 聡 一 郎

地域の「自治」による「開発」ということ  
舟 生 潔

新潟県教育界における「学閥」問題(第5回)

〔学閥〕研究会

〔感想〕

学閥人事の救いがたい弊害

〔地域からのたより〕

無理をしないで息長く

あすからの子育てに自信が

卷町つくしの会

高 井 照 伍

〔書評〕

宮本憲一著『地方自治の歴史と展望』

木 村 隆 利

〔小説〕

わが道を求めて ―人間をはぐくんでくれるもの―(第1回)

長 崎 明

〔特集〕 県民の教育要求と「臨教審」答申

「臨教審」体制とはなにか

阿 部 好 策

子どもの前面発達と県民の教育要求にこたえる教育改革をこそ

木 村 隆 利

〈座談会〉

今子どもは、学校は、教師はどうなっているか

金田広・齋藤邦子・坂本典子・谷川岳夫・林昌子・(司会) 片岡弘

研 究 所

大学審議会法案と臨教審「大学改革」

糟 谷 憲 一

「東京通信」傍若無人

八 木 三 男

マル先生ってどんな人

富樫厚彦・高橋達泰

日本の未来を暗示する長岡テクノポリス(二)

長岡ニュータウン光と影

馬 場 清

〔地域からのたより〕

沼垂地域教育懇談会

巻町つくしの会

母の願いなかなか届かず（新潟市内婦人会員のつどい）

関谷 美恵子

丸山 マツイ

新潟県教育界における「学閥」問題（第6回）

〔学閥〕研究会

〔書評〕

闘いの記録「なんだ坂、こんな坂」

岩波講座「教育の方法」（第1巻）

映画「痴呆性老人の世界」をみて

富井 雅男

末武 勝

〔小説〕

わが道を求めて ―人間をはぐくんでくれるも

長崎 明

16号 (1987・12)

〔特集〕「臨教審」と新潟県の教育

アメリカの大学の日本進出と臨教審

新潟県の高等教育の現状と課題

高校生の「急増・急減槻」対策

新潟大学の場合

八木 三男

糟谷 憲一

本間 藤四郎

(KEYWORD)「四全総」と新潟県

野沢 勲

日本の未来を暗示する長岡テクノポリス（三）

長岡技術科学大学の性格

馬場 清

〔東京通信〕

根津界限

八木 三男

〔研究部会たより〕

いま、学校の授業は、部会の今までの歩み、成果と課題

授業づくり研究部会

新潟県教育界における「学閥」問題（第7回）

〔学閥〕研究会

〔小説〕

わが道を求めて ―人間をはぐくんでくれるもの―（第3回）

長崎 明

17号 (1988・3)

〔特集〕進行する「臨教審」状況

子どもは人間らしい育ち方を保障されているか

親の子育て要求と保育行政

臨教審・研究・第1部会

新潟県における初等中等教育の現状と課題

臨教審・研究・第2部会

「初任者研修」は教師をどうしようとするのか

新潟県の実態と問題点

初任者研修の試行・研究部

臨教審と障害児教育

市川 勝志郎

「リゾート構想」と鳥屋野潟南西総合開発

野 沢 勲

日本の未来を暗示する長岡テクノポリス(四)

長岡技術科学大学

馬 場 清

水俣病不知火大検診に参加して

関 川 智 子

「東京通信」

「日和下駄」から

八 木 三 男

新潟県教育界における「学閥」問題(第8回)

「学閥」研究会

「たより」

山崎さんの実践に感動

岩 島 昭 二

泉ありて人々集う

高 村 栄 子

「北から南から」

学校訪問また楽し

―私の趣味はPTA

小 池 寿 哉

「書評」

『スポーツ「部活」』(章土文化社刊)

小 熊 隆

「小説」

わが道を求めて ―人間をはぐくんでくれるもの―(第4回)

長 崎 明

100号 (1988・6)

「生涯学習体系への移行」と地域

八 木 三 男

「特集」管理の中の子ども、教師

今、学校をどうみるか ―ある高校教師の視点―

子どもをどうみるか(上)

子どものためにこそ教育はある

若い教師の生き生き座談会

谷川雅雄・山本太郎・佐藤美佐・西脇啓子・霜村悟(司会)

片岡弘

教育労働 ―私の場合―

研 究 所

つい子どもの指導が管理主義に陥るのはなぜか

佐 藤 守 正

塾からみた子ども・父母・学校

江 平 稔

塾からみた子ども・父母・学校

向 後 泰 彦

新潟県作文の会創立35周年記念集会のこと

加 納 マスミ

「書評」

『父ちゃん母ちゃん出番だよ』

三ツ井 富士夫

新潟県教育界における「学閥」問題(第9回)

「学閥」研究会

〔小説〕

わが道を求めて ―人間をはぐくんでくれるもの― (第5回)

長崎 明

10号 (1988・8)

〔新テスト〕の非教育的性格

八木 三男

〔特集〕学力を高める教育実践とは

ゆつくり根を張れ柿の種

―変わる農村での親と教師の子育て教育―

八幡 明子

畑に太陽と水と肥料をあたえるように

―工業高校における英語の授業―

井浦 和子

〔てい談〕苦闘する教師

阿部好策・吉田武雄・相沢きよえ

新潟県立図書館の「整備計画」によせて

小田 寛津蔵

日本の未来を暗示する長岡テクノポリス (最終回)

馬場 清

〔たより〕

一人ひとりを大切に作る学校を

島田 律子

〔新潟の教育情報〕に望むこと

思い出深い三人の先生

竹内 貴美  
古川 文恵

〔書評〕

藤原利昭著『黄金の林檎』

子どもたちの未来と可能性に挑む教師

吉村 敏一

新潟県教育界における「学閥」問題 (第10回)

〔学閥〕研究会

〔小説〕

わが道を求めて ―人間をはぐくんでくれるもの― (第6回)

長崎 明

20号 (1988・11)

〔特集〕いま『校則』を考える

子どもの人権と『校則』

『きまり・校則』をめぐって

〈座談会〉ぼくらにとつて『校則』つてなに

田中一郎・鈴木 郎・八木陽子・原一・桑田隆則・佐藤薫・(司会) 三ツ井富士夫

研 究 所

社会科学解体の意味するもの「生活科」で子どもはどうなる

子どもをどうみるか(下)

学校給食が危ない

土田 光男  
山崎 徹  
小熊 隆

心にかかる沖縄の民舞

〔北から南から〕

先生、手をつなぎましょう

磐越西線の車窓からみたもの

宮本 徹

富井 雅男

金子 修

新潟県教育界における「学園」問題（第11回）

「学園」研究会

〔本の紹介〕

『小さな学校がきえた』三輪定宣・千葉小学校統廃合問題研究会

高山 次嘉

〔民間教育全国集會に参加〕

全国生活指導研究協議會

科学教育研究協議會

教育科学研究会

青柳 勇治

和澄 利男

長部 文子

〔ひろば〕

養護学校の子どもたちと

私のボランティア第一歩

研究所総會に出席して

大平 伸子

八木 洋子

大堀 みき

〔感想〕

にいがたの教育情報』第19号を読んで

〔地域からのたより〕

『思春期のわたし』（映画と講演の夕）

〔小説〕

わが道を求めて

一人間をはぐくんでくれるものー（第7回）

小池 寿哉

亀山 和子

長崎 明

天皇問題について県民の皆さんに訴える

研究所

## 21号 (1989・5)

### 〔特集〕『初任者研修』がねらうもの

〔初任者研修〕と教職員集団

西蒲原郡「初任者研修」試行の実態と問題点

八木 三男

西蒲教育サークル

憲法と象徴天皇

大喪の礼（詩）

成嶋 隆

白石 実

〔東京通信〕

ねづのたこやき

八木 三男

〔生活科〕はいつか来た道

すべて『物』には重さがある〜Nさんへの手紙〜

小林 昭三

小熊 隆

〔子育て教育110番〕

”学校なんか行きたくない”

〔ワンポイントリリーフ〕

「忘れ物をなくすには」

木村 隆利

村山 紘

〔古代文学おもしろ空想探索〕

万葉の大歌人 大伴家持考

くわな よしお

ビジョン検討委員会二年間の活動をふりかえって

久保田 幸雄

〔書評〕

堀尾輝久著『教育入門』

深沢 広明

新潟県教育界における「学閥」問題（第12回）

〔学閥〕研究会

〔アピール〕

天皇の元首化・神格化に反対します

研 究 所

「大喪の礼」などについて県民の皆さんに訴えます

研 究 所

〔地域からのたより〕

草の根の教育力を根付かせる第一歩

津 幡 龍 峰

## 22号 (1989・7)

### 〔特集〕ファミコン・テレビ文化と子どもたち

ファミコン・テレビ文化と子どもたち

汐 見 稔 幸

（座談会）わたしの子育て 1989 in にいがた

小野義美・小林ふくみ・水落美佐保・山岸順子・（司会）竹内貴美

研 究 所

進学校における授業内容

三ツ井 富士夫

体系化される生涯学習と社会教育実践

手島 勇 平

〔エッセイ〕

知事選のあとで

八 木 三 男

〔ワンポイントリリーフ〕

「テレビからの脱出法」

村 山 紘

〔子育て・教育110番〕

”小2の家庭学習に母親はどうかかわったらよいのか”

木 村 隆 利

〔古代文学おもしろ空想探索〕

万葉の大歌人 大伴家持考（下）

くわな よしお

新指導要領と新潟県の子ども・学校

片 岡 弘

〔書評〕

高橋武昌著『教師でよかった』 子どもが主人公の教師をつくる

磯 野 修 二

新潟県教育界における「学閥」問題（第13回）

〔学閥〕研究会

〔小説〕

わが道を求めて ―人間をはぐくんでくれるもの―（第8回）

長 崎 明

〔地域からのたより〕

いま子育てで何が大切なのだろうか

船 山 厚 治

「人間らしさの基底にあるもの」

八木 三男

【特集】家庭の文化と子育て・教育

生活・文化・子育て

坂本典子

働く婦人のくらしと子育て(上)

佐藤 郁

子

(座談会) 子育て・教育と食文化

五十嵐美子・河辺昌子・高橋武昌・手島幸子・中島和子・藤沢和子(司会) 木村隆莉

研究所

植民地支配と天皇制

糟谷 憲一

【子育て・教育110番】

小2の家庭学習に母親はどうかかわったらよいか(二)

木村 隆利

【ワンポイントリリーフ】

「生活リズムのたてなおし」

小川 伸一

【北から南から】

日本は文化の終着駅

今井 博

松葉保育園訪問記

明戸 和枝

松葉保育園訪問記

小野 義美

松葉保育園訪問記

小綱 由美

真実を追うもの

関川 智子

【本の紹介】

『いばらきの地域と自治，89』

野沢 勲

新潟県教育界における「学閥」問題(第14回)

「学閥」研究会

【小説】

わが道を求めて ― 記憶の彼方―

(第9回)

長崎 明

新潟県政刷新の運動を一層発展させるために

竹内 貴美(文責)

研究所と知事選

研究所

24号 (1990・1)

日本の教育運動における「にいがた県民教育研究所」の役割と課題

三輪 定宣

地域の父母と結んだ文化活動

斎藤 広平

「食」と「農」その意味するもの

西山 文四郎

(座談会) 子育て・教育と食文化(下)

五十嵐美子・河辺昌子・高橋武昌・手島幸子・中島和子・藤沢和子(司会) 木村隆利

研究所

小さな庭のバードウォッチング

加藤 誠一

〔子育て・教育110番〕

挫折を乗り越える力を

木村 隆利

〔北から南から〕

「存じですか……子どもの」かくれた好物を

立石 由美

第八回・にいがた自治体学校に学んで

加藤 賢子

新潟県教育界における「学閥」問題（第15回）

〔学閥〕研究会

〔書評〕

『聖籠の食文化をたずねて』

白川

実

〔コラム〕

小学校社会科に“軍神”復活

美酒遍歴

白川 実

第5回地域づくりと教育・文化運動全国交流研究会

参加者の声

〔小説〕

我が道を求めて ―双溪小学校入学の頃―

（第10回）

長崎 明

25号 (1990・5)

〔特集〕新潟から日本の教育をみる

第5回「地域づくりと教育・文化運動全国交流研究会」報告

実行委員会挨拶 池田 清美

自治と連帯のネットワークづくりを

〔交流研〕第4回までを振り返る 藤岡 貞彦

〔記念講演〕

新潟の農村・農業と教育 長崎 明

〔基調講演〕

新潟で日本の教育を考える 八木 三男

〔分科会報告〕

親と教師の共同で学校を人間印に変える努力を

山上 修・吉田武雄

〔分科会報告〕

「食」「農」「教育」を軸に地域づくりのネットワークを

高橋 武昌

〔分科会報告〕

農業危機・リゾート開発・民主的地域づくりの進むなかで

久富 善之

〔分科会報告〕

地域の子育て運動と子どもの権利

増山 均

〔分科会報告〕

人間発達の保障を基盤に

塩野 俊治

【分散会の概要】

新潟水俣病にとりくんで

関川 智子

【分散会の概要】

にいがた県民教育研究所の活動に学ぶ

千田 忠

【分散会の概要】

子育てでは、親の悩みは共通だ

片岡 弘

【分散会の概要】

子育てが「農」と「食」を結ぶ

福島 達夫

新潟水俣病第二次裁判を傍聴して

竹内 貴美

【感想】

子どもにつながる活動を育てながら

清水 久美子

子育ては地域住民共同のしごと

高橋 美緒子

なに！子どもの意見表明権？

竹内 裕子

新潟の歴史がつくる集会

福島 達夫

地域づくりネットワークの発展のために

集会実行委員会

「地域づくりと教育・文化運動全国交流研」がめざすもの

大槻 健

【特別寄稿】

新年度新潟県予算の教育費分析

福島 富

26号 (1990・8)

【特集】新学習指導要領と新潟県の教育

新学習要領と子どもの学力

深沢 広明

新学習要領と子どものからだ、遊びとスポーツ

山崎 健

新学習要領と学校現場 ―生活を考える―

宮川 哲夫

【シンポジウム】

「日の丸」「君が代」強制と親の教育要求

久保田幸雄・神田ティ・高橋美緒子・広瀬寛代子・古川文恵・(司会)小林裕子

研究所

【伝習館訴訟】判決と指導要領の拘束性

伊藤 宏

【子育て・教育110番】

子どもの本音が聞けたときから(登校拒否)

木村 隆利

【北から南から】

またひとつ財産を残して ―大江山子育て・教育研究集会

高橋 武昌

地道に少しずつ ―柏崎教育懇談会のこと

加納 マスミ

〔本の紹介〕

大田堯著 『教育とは何か』

長崎 明

〔広場〕

先生が見つからないと、学級増を拒否した学校

大高佳代

新潟県教育界における「学閥」問題（第16回）

〔学閥〕研究会

磯野修二君を悼む

大室 茂

〔コラム〕

席をゆずってくれた高校生

〔小説〕

わが道を求めて ― 記念写真の思い出

（第11回）

長崎 明

〔インタビュー〕 版画にかける人生

版画家 小林春規さんを訪ねて

〔子育て・教育110番〕

父親が子どもの良き相手に

〔北から南から〕

学校や教師に望まれているもの

遙かなる天山

新潟水俣病事件における国と昭和電工の責任

〔書評〕

大塚達夫著 「あの夏の日に」

〔ひろば〕

親しみ深い情報活動をもっと

野沢勲氏の急逝を悼む

私財を投じて「西蒲教育研究所」を設立

野沢勲氏の急逝を悼む

私財を投じて「西蒲教育研究所」を設立

野沢勲氏の急逝を悼む

私財を投じて「西蒲教育研究所」を設立

野沢勲氏の急逝を悼む

新潟県教育界における「学閥」問題（第17回）

〔学閥〕研究会

〔小説〕

わが道を求めて

（第12回）

長崎 明

にいがた県民教育研究所の新しい段階とはなにか

八木 三男

27号 (1990・12)

〔特集〕 『子どもの権利条約』と新潟県の学校

「子どもの権利条約」とは何か

なぜ「生徒心得」は廃止されたか

親の教育権と市民的共同

根をはれ 子どもの権利条約

ボクらにだって言い分はある

成嶋 隆

河野 進一

牧野 証名

高橋 達泰

高三生徒の意見

「北から南から」

忘れえぬ患者

村上冬物語

ある切っ掛け

大きくなったら

関川智子  
白川実  
高橋坦  
佐藤郁子

【特集】新学習指導要領と教育実践

子どもの学力形成でいま何が問題か  
どうする？「生活科」

地域学習「石打丸山スキー場」

書かせたい題材は山積みしている

新指導要領と基礎学力

阿部好策  
土田光男  
佐藤守正  
加納マシミ  
山崎徹

いま、子育てが楽しい

十四の春・迷える英子

主人公はぼくらだ

鳥屋野瀬とその周辺整備について

千人会員をめざす研究所の活動

大平ケン  
林圭子  
竹内貴美  
長崎明  
研究所

新潟県教育界における「学閥」問題(第18回)

「学閥」研究会

【ひろば】

近況報告

大平荘一

教育について今思っていること  
うんことごほんことたらことぎゅーにゅー  
小池寿哉

だれにでも分かることを第一に  
教育現場多忙化のメカニズム  
後藤清美

【本の紹介】  
牧 柎名著 「かがやけ子どもの権利条約」  
小森唯一

【小説】  
わが道を求めて (第13回)  
吉田武雄

長崎 明

「北から南から」

再就職

予防接種は誰のために

手渡したい未来への切符

つながってつながって

津幡龍峰  
塚田次郎  
田口栄子  
三條美枝子

【特集】「市民が教育内容を問う」第四回研究集会報告特集

ご挨拶

「市民が教育内容を問う」第四回研究集会報告特集

【記念講演】  
文化協同と教育運動  
長崎 明

八木三男  
佐藤一子

「市民が教育内容を問う」 第四回研究集会報告特集

成績評価への親の疑問そして願い

広瀬 喜代子

「市民が教育内容を問う」 第四回研究集会報告特集

アメリカ留学体験から見た日本の高校生活

品田 絹江

「市民が教育内容を問う」 第四回研究集会報告特集

中国の学校と日本の高校生

艾 暁 新

「市民が教育内容を問う」 第四回研究集会報告特集

娘の通っている日本の学校

キース・ファリス

「市民が教育内容を問う」 第四回研究集会報告特集

家庭における父親の責任を考える

富 樫 厚 彦

「市民が教育内容を問う」 第四回研究集会報告特集

素晴らしきもの人間

河 辺 広 男

「市民が教育内容を問う」 第四回研究集会報告特集

高校生も大学生も参加した

八 木 三 男

【分科会報告】

「通知票と『内申書』」 市民運動に新しい課題

片 岡 弘

【分科会報告】

「日本の学校と外国の学校」 外国人も市民のひとりとして参加した

吉 田 武 雄

【分科会報告】

「親父の出番です」 あらためて父親像家庭像を考える

木 村 隆 利

【分科会報告】

「緑の中の子どもたち」 自然と子どもの発達

小 熊 隆

【学童保育日記】

地域の子どもの豊かな生活づくりのために(上) 高 沢 弘 一

続 小さな庭のバードウォッチング

加藤 誠 一

研究活動のこれまでと『いがたの教育情報』

(上) 片岡 弘

新潟県教育界における「学閥」問題(第19回)

「学閥」研究会

【小説】

わが道を求めて

(第14回)

長 崎 明

【ひろば】

白根短信

片 桐 憲 吾

信頼関係を基礎に

五十嵐 恵美子

300号 (1992・1)

「北から南から」

オーバー・レインボウ

小 林 裕 子

”華麗”なる転身

アサガオとヒマワリ

吉 田 三 男  
工 藤 和 雄

【特集】親は子になにをつたえますか

いま、子育ては危機なのか

坂 本 典 子

(座談会) 親が子に伝えるもの ―子育てのポリシー―

勝見江津子・関谷美恵子・服部正史・松田智子・(司会) 竹内貴美

我が家の子育てと親育ち

研究所  
佐藤澄江

「北から南から」

我が家の風呂

豊かさの背後に

私自身の自戒

富樫昭次  
島田律子  
板垣清

指導要領・調査書と教育評価(上)

C君が文字を覚えた

〔学童保育日記〕

地域の子どもの豊かな生活づくりのために(下)

〔サハリン紀行〕

ほのぼのとした人情味あふれる

研究活動のこれまでと『にいがたの教育情報』(下)

〔特集〕生活科とはどんな教科か

生活科と理科教育

子どもの知的発達を保障する生活科の創造を

生活科―現場の一教員として

生活科指導の実際とその方向

小林昭三  
小熊隆  
立石由美  
宮川哲夫

〔図書紹介〕

「怒りの阿賀」

〔ひろば〕

アゲハが鏡を見たんですって

〔コラム〕

アメリカザリガニ

新潟県教育界における「学閥」問題(第20回)

「学閥」研究会

〔小説〕

わが道を求めて

全国会員制教育研究所紹介  
1991年度の方針と計画

長崎明  
研究所  
研究所

新潟県の教科書は誰が選ぶか

検定と採択の問題

小学校一年生の国語の力と教師のながい

真実を書いた教科書がほしい

こんなことはアメリカでは起こらない

ドイツ連邦共和国の教育制度

親と子の学級経営参加 ―フランスの場合

指導要領・調査書と教育評価(下)

教員派閥研究における記念碑的労作

―「学閥」研究会の成果の検討

吉田武雄  
高橋武昌  
板橋育夫  
ドナ・藤本  
シュテファン・フーク  
小島伸恵  
八木三男  
三輪定宣

【図書紹介】

『コルチャック先生』

竹内 貴美

【ひろば】

共働き教師の子育てはバニツクか

向後 秀子

親子で心の学びを

小田 恵子

【小説】

忘れえぬ人びと ―プロローグ―

坂東 克彦

え、「記号科」だつて？

全国公務員制教育研究所紹介

あいち県民教育研究所

研 究 所

32号 (1992・8)

【北から南から】

ファミリー登山もいもんだ

佐藤 賢

マチネ

八木 三男

人間をみつけれられた

宮本 徹

「子どもの権利条約」の批准と運動展開

八木 三男

【特集】 学校五日制を考える

子育てと世直しと

学校五日制を子どもの側に立った教育改革に

『モモ』・その後

親からみた学校五日制

矢野 教

板橋 育夫

竹内 貴美

飯塚 孝子

第五回研究集会Ⅱ 『子ども最優先の原理とは』

第五回研究集会

【記念講演】

子どもの生きる力と自立

石田 一宏

第五回研究集会

【特別報告】

教育とみどりと自然

石川 学

第五回研究集会

【特別報告】

親子で心の学びを劇場で育った私たち

渡辺 久美子

第五回研究集会

分科会報告 ―木村隆利・若月又次郎・小熊隆

研 究 所

【コラム】

体験学習で学ぶ大江山中の生徒・教師・父母

高橋 武昌

学級集団の力を高めながらこの子と共に

亀山 和子

算数教科書における教育内容構成の問題点

岡野 勉

【手記】

学閥による教職員組合支配

小熊 隆

新潟県教育界における「学閥」問題(付録) 図表類一覧

「学閥」研究会

〔小説〕

忘れえぬ人びと (第2回)

W・ユージン・スミス

坂東克彦

33号 (1992・12)

〔北から南から〕

こだわりとの出会い・・・平和

佐藤喜代子

山の口が開く

佐藤守正

今、子どもたちは、じぶんで考える生活時間が足りない

八幡明子

〔特集〕「いきいきスクール」を考える

「いきいきスクール」で子どもは生き生きできるのか

片岡弘

新潟県の小学校における「いきいきスクールプラン」

高橋武昌

「いきいきスクール」中学校

中川セツ子

「高校教育の再編」と「いきいきスクール推進運動」

三ツ井富士夫

第9回にいがた県民教育研究所総会記念講演

ひとりを追う教育

榎本栄次

心配な子どもからだど健康

地域に根ざした「生活科」

なんていい日なんでしょう

新指導要領下の算数教育の実践

高校生への読み聞かせ

教師自身の手で派閥の解消を

「新潟県教育界における『学閥』問題を読む」

山住正己

新潟県教育界における「学閥」問題(付録)

「学閥」研究会

〔小説〕

忘れえぬ人びと (第3回)

坂東克彦

〔ひろば〕

おかあさんもつとかわいがって!

仙台からのたより

31号ひろば欄の向後秀子さんへ

味わいがあります 坂東克彦氏の「忘れえぬ人びと」

山崎真智子  
関忠作  
立石由美  
村山隆

34号 (1993・4)

〔北から南から〕

子育てを楽しく

いじめや差別をみのがしてはならない

佐藤郁子  
小堺正司

人は望みのおり出会っていくもの

嘉向秀雄

大きめで優しいコップを

手島勇平

【特集】「豊かさ」のなかの子どもたち

人権の国際化と日本の子どもたち  
「豊かさの」のなかの子どもたち

八木三男  
正木健雄

会員の皆様に訴えます  
【小説】

忘れえぬ人びと (第4回)  
坂東克彦先生への返信

坂東克彦  
藤野幸平  
研究所

【パネルディスカッション】

「豊かな国」の学校五日制  
矢野教・高橋武昌・山崎健・エイドリアン・コーエン・小林俊子  
にいがた県民教育研究所第六回研究集会

女性の参加者が男性より多かった研究集会 研究所

凧、凧あがれ！ 作って揚げようトンビ凧 市川勝志郎

イタリア見て歩きの記 ―ピザの斜塔に登るの巻

長崎明

【パリ通信】

花の都の異邦人

成嶋隆

わが「学閥」体験 一学閥学校に身をおいて

飯田康彦

【図書紹介】

プレリーリーだーのいる子どもあそび場

藤沢康子

【部会だより】

「夜型」の子がずいぶん多い

暮らし・健康子育て部会

【研究集会に参加して】

研究集会の感想

「通知票が変わった」に参加して

小林尋子  
伊藤志郎

35号 (1993・7)

【北から南から】

伝統食に光を  
女子短大生のはがき  
にわか堅実な主婦

坂本典子  
八木三男  
小林光子

【特集】「新学力観」と新潟県教育

妖怪のような「新学力観」(上)  
通知教はなぜ、どのように変わったのか  
関心・意欲・態度は客観的に測定できるものだろうか  
中学校での「新学力観」

八木三男  
研究所  
板橋育夫  
住安孝夫

旧ソ連の核惨事と人類史的な環境課題

―チチェルノブイリ原発事故の後遺を訪ねて

小林昭三

「パリ通信」

パリジャンの見た日本

成嶋 隆

(座談会)新潟県教育界における「学閥」問題(上)  
八木三男・小森唯一・駒村励吾・加藤栄二・野沢弘・小林ユキノ・木村隆利

研究所

地域に根ざした生活科 ヤギとともに  
地域の変貌と子どもの生活と文

八幡 明子  
木村 隆利

「コラム」

ある「学閥」校長

木村 良子

「学校五日制」で遠足がなくなる?

「小説」  
忘れえぬ人びと (第5回)

坂東 克彦

36号 (1994・1)

「北から南から」

はじめにいのちありき  
消えていった学校から  
大学猫

「自己点検・評価」雑感

日本が面白い  
自転車盗難事件

花 沢 栄 一  
須 田 明 子  
八 畝 友 広  
関 尾 史 郎  
セバスチャン・パヴリータ  
カレン・ファアローング

「特集」新潟県の「登校拒否」問題

不登校の克復とはなにか  
地域の変化と不登校  
わが子の登校拒否  
もつとゆつたりと子育てを  
学級へもどれた朋子さん

―現代教師論雑考

妖怪のような「新学力観」(中)

二 谷 貞 夫  
八 木 三 男

私たちの食糧と環境を守る農業(上)

〈小学校社会科教科書を逆検定する〉

ヨーロッパの公園

長 崎 明  
松 山 雄 二

「座談会」新潟県教育界における「学閥」問題(下)

八木三男・小森唯一・駒村励吾・加藤栄二・野沢弘・小林ユキノ・木村隆利

高校生がつくる「夢の学校」一・93日本海夕日ハイスクール

教育相談ってなんだろう

木 村 英 祐  
竹 内 貴 美

「小説」

忘れえぬ人々(第六回)

坂 東 克 彦

【特集】新潟県における「教員の多忙化」問題

教員の教職活動に関する調査（「教員の多忙化」調査）結果の報告

なぜ、中学校教師は「忙しい」を口癖にしているのか？

学級の子どもともっとふれあいたいのに

片岡 弘

小林 朗

鈴木 枝美子

フランス・カナダ・日本 ―国際化時代の社会と教育―

成嶋 隆

妖怪のような「新学力観」（下）ふたたび「講座資料を読む

八木 三男

私たちの食糧と環境を守る農業（下）

（小学校社会科教科書を逆検定する）

長崎 明

【北から南から】

銚ヶ岳登山

おばさんのカルフォニアホームステイ

【部活】と青春

細河さんの死

【図書紹介】

『日本の学校のゆくえ』

霜野 好克

藤井 武子

近藤 明彦

清水 マチ子

木村 哲郎

子どもの目・親の目

たけうち きみ

【ひろば】

研究上の信念を曲げては

「子どものいじめの問題」をとりあげて

私の活動に生かします（36号を読んで）

実践が見えない

武田 宏

大倉 愛子

宮川 哲夫

大塚 達男

【特集】新潟県の障害者問題

新潟県の障害児者の人権と発達保障

脳性麻痺・ダウン症の早期療育に携わって

身体障害者基本法と県内の制度と施設作り

労働者になれない労働者（新潟県の障害者の労働）

竹内 光男

新田 初美

池田 邦紀

川崎 和幸

障害児学校の現状と課題

障害児学校の訪問教育

視覚障害者を中心とする男性合唱団「どんぐり」の歩んだ十四年

障害児の親の声を聞いて ―加茂川ハル子さんが語る

「障害児」となった娘を抱えて

堀川 孝明

平賀 哲

鈴木 浩平

研 究 所

後藤 盛子

はたらくこと、生きぬくこと―支え合う障害者を育てる  
 「新潟県基準寝具」の渡邊トクさんインタビュー  
 本田敏彦  
 斎藤克己  
 知的障害児とあそびの指導

沼垂の新たな始まりのために ―地域発展と文化・学問

小林昌二

西山文四郎さんに米問題を聞く  
 雪国の子どもたち ―新潟県の文学風土(上)

研究所  
 杉みき子

〔第7回研究所研究集会〕

通知票をこのようにつくった

霜野好克

はじめに言葉ありき 中学校における新学力観

鷲頭靖夫

新しい調査票と業者テスト「禁止」は何をもたらしたか

木村哲郎

こまぐさ乳児園のめざすもの

安倍初江

映画「学校」をみる

新潟大学・学生  
 たけうちきみ

〔図書紹介〕

『学校選択と学校参加』

―アメリカ教育改革の実験に学ぶ

山本由美

〔北から南から〕

コメの話と再試験

本田浩邦

ティートイムをどうぞ

鈴木美和子

現代の書道雑感

石井清賢

六月の青空

松岡敦子

〔小説〕

忘れえぬ人々(第7回)

坂東克彦

〔ひろば〕

「逆検定」

岡野勉

文通コーナーを作ってほしい

高橋かみで

通知票の項目

太田朝子

「教員の多忙化」は何が原因？

佐藤正子

忙しい日本の学校

渡辺政和

39号 (1994・11)

〔特集〕 「戦争と平和」と新潟県

平和教育の課題

宮菌衛

ブナ林幻想

八木三男

敗戦の日

松村敏子

木製飛行機を作っていた少女たち

佐野昭次

長岡大空襲12才の夏の日

坂東千代

昭和二十年八月十五日：熱い夏の日

和田左苗

日本は負けないよ

大室茂

狂気の時代に育つて

細野ヤエ

制裁

吉田武雄

満州に生まれた小国民

…「敗戦をむかえた私たち

本田敏彦

「私たちの八月十五日」の周辺

八鍬友広

新潟大学の新しい授業 ―教養：総合科目・平和を考える―

八鍬友広

「十五年戦争」と平和学習―従軍慰安婦問題を中心に  
 山崎 健  
 横山 真一  
 金 泰 振  
 小 林 正 弘  
 三 浦 晃  
 直江津空襲を平和を考えるよすがに

「子どもの権利条約」と市民運動  
 世取山 洋介

雪国の子どもたち ―新潟県の文学風土(下)  
 杉 みき子  
 荒 木 繁 雄  
 藤 田 正 正

新潟市における教科書採択の民主化を求めて  
 親の目・子どもの目  
 萱 場 昭 子

『図書紹介』  
 『事典・日本人と水』  
 長 崎 明

「北から南から」  
 毎日が日曜日  
 加 納 マスミ

共生―共に生きること  
 野 中 昌 法

保健婦からみた栃尾の子どもの現状  
 今 井 容 子

「小説」  
 忘れえぬ人々(第8回)  
 坂 東 克 彦

40号 (1994・12)

「北から南から」  
 子どもの権利条約―こんなふうに進めませんか  
 足 立 定 夫

カナリヤは、今、さえずるとき  
 工業化の生徒と家庭科  
 関 根 征 士  
 寺 崎 洋 子

「特集」 大学入試の現状と新潟県

新潟県の大学進学率はなぜ低いか

「大学等進学向上対策事業」をめぐる

「大学等進学向上対策事業」の目指すもの  
 八 木 三 男  
 中 村 徹

”大学に行きたい”願いにこたえて―進路指導部から見えること―  
 三ツ井 富士夫

(対談) どの子の進路希望にも心くばりをしてほしい  
 本 田 敏 彦  
 古 川 和 代

たまらなく寒々とした思い

おかあさんたちが走らせた『ぞうれつしゃ』  
 神 田 行 雄

十周年記念号発行にあたって  
 長 崎 明

教育自治の発展に期待  
 河 辺 広 男

創立十周年は私たちに誇り  
 川 合 章

日本を照らす「にいがた」燈台への期待  
 山 岸 堅 磐

私たちも十年をめざして  
 東 孝 二

にいがた県民教育研究所創立十周年への祝辞  
 高 野 邦 夫

地域から発信し、人が育ちあう基地を  
 高橋君子・高橋武昌

在日朝鮮人の民族教育「これまで」と「これから」  
 成 嶋 隆

韓国修学旅行  
 立 石 由 美

歌う子どもたちとわたし  
 三 条 美 枝 子

親の目・子どもの目

「諸行有情」 中沢正夫著  
ツベタ土石流と遺跡(その2)

竹内貴美  
荒木繁雄

41号 (1995・3)

「特集」新潟県における「新しい学力観」

「新しい学力観」と学校・そして子ども  
岩辺泰史  
〈座談会〉新潟県における新しい学力観  
岡野勉・木村哲郎・小林朗・高橋武昌・宮本幸子  
研究 所  
宮本幸子  
わいわい生活科

子ども未来に原発はいらない  
地域に根付いた子育ての場を求めて  
放課後の子どもたち  
仲間の中で  
相坂滋子  
西原嘉穂  
丸山尚子  
熊谷睦

「研究会十年史を読んで」

「モルダウ」の響きか「展覧会の絵」のルフランか  
藤岡貞彦  
研究所の成果を職場・地域の教育運動に生かしたい  
内山雄平  
盛会だった創立10周年記念祝賀会  
小熊隆

阪神大震災の個人的経験を通して  
活断層と地震  
親の目・子どもの目

直江津捕虜収容所の悲劇と平和友好記念像  
スキーと子ども  
危機に直面する新潟市の学校図書館

斎藤浩志  
大野隆一郎  
村尾志乃美  
下村省一  
山崎健  
高橋弘之

「声明」

新潟市は学校司書の人員を削減することなく、  
あくまで「二校一司書」の実現を

研究 所

「北から南から」

心が見えてくる ―視覚障害教師の立場から  
「七三一部隊」展 ―ソウルにて―  
ヒマラヤからみえたもの  
長井仁  
金子修  
佐藤賢

マディソンからシカゴへ  
八木三男

42号 (1995・6)

「特集」新潟県における「いじめ問題」

いじめと子どもの人権  
ベルギーで「いじめ」を考えて  
高校生がみた「いじめ」  
いじめと向きあって  
教職員が「いじめ」問題に真正面からとりくむとき  
足立定夫  
世取山洋介  
広瀬由美  
アンジェリケ

いじめ・市民が語る

高橋 武昌  
竹内 貴美

「文部省いじめ対策緊急会議報告」を読む (資料付き)

岡野 勉

親の目・子どもの目

八木 絹

「研究所十年史を読んで」

地域研究所の課題

川合 章

新潟県民をめぐる対抗と教育研究所

鈴木 文熹

「第八回研究会「ゆれる家族」基調報告」

「人権」としての家族

「国際家族年」からなにをひきだすか

八木 三男

精神科医からみた家族

中沢 正夫

家族と子育て

坂本 典子

最も小さい民主主義を家族の中に

小2地域探検から「父親」の授業へ

高橋 武昌

障害者の子育てと「家族」

竹内 光男

地域に子育て、文化の輪が広がる「地域子ども文庫の歩み」

河野 涼子

「北から南から」

新潟県北部「福島潟」地震調査に参加して

荒木 繁雄

やはり子どもは“追いかけてこ”

大平 荘一

現代のユートピア

桑名 紀子

「特集」戦後50年と新潟県

戦後50年と憲法教育・平和教育の課題

一憲法第九条を中心に

成嶋 隆

新潟県原爆被害者

遠藤 憲一

遠藤健一さんに聞く

戦争を知らない世代に伝えたい

本田 敏彦

今度は僕たちの番

北山 哲志

戦争は自然の摂理か

佐藤 和子

戦争の事実を知ること

近藤 一郎

人々の生活と心を破壊

高橋 亮

今、平和について思うこと

大橋 桃子

なぜ戦争は？

小杉 奈穂

被爆体験をきいて

榎本 美加

平和を守るには犠牲がいるか

佐藤 拓也

原爆ドームの保存

井上 純子

過去に目を向け

原 泰一

「想起する」ということ

戦後50年の国会決議を機会にブライツゼッカーを読む

八木 三男

長岡空襲の語部

吉澤 俊夫

〈座談会〉戦後五十年の「平和」とわたしたち (新潟大学学生)

鈴木俊夫・斎藤次郎・田中祐一・坂井夏美

司会 小林朗

研究所

〔北から南から〕

父

非常勤講師生活から

わが娘の「忘れた」

エン害

アメリカの高校留学から学んだこと

「現在を飛び越しては未来へは行けない」

—ある若い医師への手紙—

オウム真理教になぜ理科系の高学歴者が？

丸山ひまわりクラブの子どもたち

赤泊民話の里を訪ねて

親の目・子ども目

〔図書紹介〕

『生きるヒント2』

『日本の教育』

『忙しいね』の一学期

持続可能な開発を

—「水とみどりの三和村環境問題移動教室」に参加して—

ベトナム見学の旅(1)

大滝 永子

小熊 正

小栗 真美

若月 又次郎

高橋 美衣

中野 芳彦

関根 征志

服部 えみ子

本田 敏彦

藤田 千代子

小池 真澄

吉田 武雄

後藤 盛子

荒木 繁雄

吉村 敏一

44号 (1995・11)

〔特集〕新潟県の教育行財政問題

臨時教員問題とは何か

新潟県臨時教員問題の改善を求めると云

県内職業高校の再編と課題 —急速にすすむ学科再編

コンピュータ教育と学校

小・中学校の学校財政

県立高校の学校財政はどうなっているか

県教委の教員人事異動方針が変わった

内山 雄平

半谷 高紀

堀川 明子

遠山 武

研究所

〔北から南から〕

戦争と寄生虫病

教壇に復帰して二十年

「若い医師への手紙」を読んで

関川 弘雄

中村 加代子

田村 精二

日本海は表日本だった—新潟県の考古学の発展(上)

甘粕健新大教授に聞く

本田敏彦・荒木繁雄

ギャングエイジを経験し損ねた中学生たち

森 拓人

〔図書紹介〕

『遠く「山びい」』

石川 直

親の目・子ども目

三和村の子どもたち

鈴木 よし子

白鳥 美智子

退職教員がなぜ三和村の村長になったか

S 中学授業出席拒否事件とその問題点

新食糧法で新潟県の農業はどうなる

新潟県の「官官接待」もうカンカン！

—「贈収賄」の構造そのもの—

国際社会における日本の役割について

—「国際化」の重要性をどう理解するか—

S・W・ゴバル

新潟県出身の満蒙開拓青少年義勇軍

長田 末作

関口 莊六  
近藤 明彦  
西山 文四郎

佐藤 賢

45号 (1996・3)

「特集」新潟県の自然環境と子ども

自然と子どもの発達

水俣病の実態を新大生はどのようにとらえたか

法廷の熱弁、坂東弁護士教壇で再現

阿賀の岸から

「酸性雨」にこだわり続けて10年間

水原周辺における子どもの遊び、むかしと今

「北から南から」

いじめの克服のために

文化の集いを開く

子どもを育てるもの

河辺 広男

吉村 尚久

旗野 秀一

寺田 和夫

荒木 繁雄

若杉 正

八木 洋子

荻原 恵子

日本海は表日本だった—新潟県の考古学の発展(下)

甘粕健新大教授に聞く

本田敏彦・荒木繁雄

“子役の登場”に笑みがこぼれる

生活経験とむすんだ勉強

米づくりと子育て

「『いじめ』問題、上越市からの発言」

伊藤準(ひさし) 君自殺事件の概要

いのちの重さと真実の知恵を

—伊藤準さんの自死と教育のこと

子どもたちと共に考えて

父母との心の通ったかわりを求めて

いま、私たちに求められていることは

今、教師こそ連帯の中心に！！

いじめ問題を教育の最優先課題に

風呂と社交

「図書紹介」

『やさしさの精神病理』

子ども権利条約にいがたの会

八木 三男

藤田 昭

吉田 三男  
満田 誠二  
飯田 耕平

小森 唯一

二谷 貞夫

林 伸子

安達 ユミ子

大金 辰三

陽田 恵介

「特集」新潟県の高校のゆくえ

新潟県における高校再編の現状と課題  
 「総合学科」の分析と検討  
 アンケートが語る  
 高校生の家庭生活と学校生活  
 研究所高校問題研究チーム

「北から南から」

オママゴト

「母と子」の読書会を続けて

島袋善祐さんのこと

ゆきぼうしの子どもたち

「親の目子どもの目」

良い自然環境のなかで育まれる子どもたちの感性

野中昌法

「教育財政セミナー講聴録」

日本の教育危機をのりこえる教育財政とはなにか

三輪定宣

「にいがた県民教育研究所第13回総会記念講演」

第十五期中教審答申と子ども、親

「子育て談話室 新潟県の子育て百科を読んで」

みんなで「新潟県の子育て百科」を読んでみた

「子育て百科」が家庭常備本になった

佐渡にもアーベルの会のような集いを

「人権感覚」を学校で育てて欲しい

障害者、この人たちお世の光に

大滝浩道

小島昌夫

吉田啓子

宮川哲夫

那須高明

大塚千恵

丸田美枝子

渡部真知子

雑賀正明

神田行雄

長谷川正也

川合章

小林昭三

和澄利男

向後秀子

甘粕健

関尾史郎

雲尾保喜

山下久恵

鈴木美和子

久富善之

広瀬美幸

和田忠敏

内山雄平

学校教育の中で自然から離されがちな子どもたち  
新潟県新津市周辺の「理科ばなれ」の背景  
「米百俵」の精神と「長岡の人材教育」

小林昭三  
和澄利男  
向後秀子

49号 (1997・2)

「北から南から」

上越市裏山遺跡と春日山城と上信越自動車道

ステーションデパートと駅ビル

「福祉科」の授業

仲間と共に楽しい子育て

アメリカ・オハイオ州のある中学校を訪問して

ロンドンと東京

「親の目子どもの目」

安全な食糧と子育て — 近頃憂えていること

和田忠敏

「特集」新潟県の農業と学校・子育て

食の危機と新潟の農業

新潟県の農業高校に未来はあるか

どうなる農業高校・どうする農業高校

和田忠敏

内山雄平

鈴木美和子

久富善之

広瀬美幸

和田忠敏

内山雄平

山間地の百姓が考える「地域と子育て」  
 学校で農業をしつかり教えて  
 地域農業・農協で学校給食を守ろう

大崎 嘉昭  
 倉島 良司  
 坂本 典子

病原性大腸菌O-157との闘い  
 「子育て公園」

木村 芳子

園の支えは親の協同の中で  
 「こまぐさ乳児園の保母が語る」

編集 部

「子どものための法律相談」  
 離婚

近藤 明彦

「新潟県自治体の教育財政シリーズ」  
 寺泊の教育財政 — 教育費の住民・父母負担の軽減を目指して

高井 健伍

新潟市の教育財政  
 教育派閥の公教育支配をなくす運動の現段階

高橋 弘之

三面川源流のブナ林を伐採から守ろう  
 O-157はなぜ集団給食からでるか

板橋 育夫  
 福本 安正

関川 弘雄

刊 1999年7月 (6)

「北から南から」

自然生態園と自販機  
 父の像  
 看護婦が疲れ果てたら

倉沢 春代  
 霜野 好克  
 片岡 弘

「特集」不登校の子を持つ親のいい分

不登校の子とわたし  
 子どもたちが本当にもとめているもの  
 不登校の子とわたし  
 学校について思う  
 手を結ぶ親たち  
 来年度は減る加配教員  
 「登校拒否対策」  
 — 学校の取り組み — 「適応教室」で奮闘する加配教員  
 わたしの学級PTA活動

川瀬 成江  
 松木 香  
 野沢 洋子  
 今井 楯男  
 熊谷 直樹  
 吉田 武雄  
 本田 敏彦  
 山崎 徹

ブナ林  
 新潟県を一国のようにみる  
 「新潟県の子育て百科」の成果とこれから

鈴木 よし子

絵本の家「ゆきぼうし」の四季・夏  
 今日の教科書攻撃  
 教科書の中のアジア — 近現代史見直しをめぐって —

八木 三男  
 五十嵐 公

子どもたちの居場所としての塾  
 「子育て公園」

二谷 貞夫  
 向後 泰彦

話しているうちに見えてきた  
 任期制で大学はよくなるか

研究 所

大学教員等任期制法案について考える

三輪 定宣

「親の目子どもの目」

自然体を出せる環境を

「子どものための法律相談」

出産育児と仕事

二十一世紀の高校教育を考える

キーワードのひとつ「総合学科」

「新潟県自治体の教育財政シリーズ」

上越市の教育財政

伊部厚子

近藤明彦

近藤明彦

保健室からみた子ども・親たち  
 家族と食事 家庭科の授業の中からみえたもの  
 青年期の登校拒否と高校への進路保障  
 子どもの体に注目しよう

田口孝  
 丸山喬子  
 熊谷直樹  
 山崎健

本田敏彦

樋口良子

樋口良子

女子高生のファッション

家庭科の男女共修の現段階

「子育て公園」

子どもたちが見えてくる

親にひらかれた「学年通信」

鈴木よし子  
寺崎洋子

「煌めく」ための高齢者の遊びデザイン考

多田千尋

「親の目子どもの目」

母の言葉

東郷奈津

「北から南から」

弁当代

版画部屋の引越し

飯豊連峰へ

支離滅裂

『新潟県の子育て百科』出版記念シンポジウム講演

牧 柁名

『子育て百科』の方法と意味

絵本の家「ゆきぼうし」の四季・秋

三面川の原生林を守る ― 現地からのレポート ―

野々垣 努  
長屋 雅樹

ロンドンと東京2

内海和雄

本間 昭次

「新潟県の自然シリーズ」

新潟県の川(第1回) 姫川

皆川 袈紗雄

「特集」新潟県の子どもの心身の発達

豊かな子ども時代を共につくる

小児科診察室からみえたもの

児童虐待を考える

村尾志乃芙

関川智子

足立定夫

「北から南から」

会議は踊る

土いじり

公民館・秋の芸術祭に初出演

映画・「住民が選択した町」上映を終えて

学校生活のおける子どもの権利(上)

絵本の家「ゆきぼうし」の四季・冬

『橋本行政改革』『新潟県の財政構造改革』と新潟県の教育

97年度公立高校全日制入試の概要

子どもと教育をためにする広域人事異動方針

新潟市の図書館の現状と図書館の教育的側面

「にいがた県民教育研究所第14回総会記念講演」

蛭と酒と子ども

「新潟県の自然シリーズ」

新潟県の川(第2回)

「図書紹介」

「わらびっこ上下

「新潟県農民運動史(戦前編)

近藤明彦

長屋雅樹

本田敏彦

長井芳朗

板橋育夫

小林進一郎

嶋 悌司

皆川 袈裟雄

土田光男

池田一男

「特集」新潟県の「少子化」時代

データで見る新潟県の少子化問題

〈座談会〉 母親の子育ての悩みと希望

「少子化」時代の家族：子育ての課題を探る

荒れる中学生をどう見るか

学校生活から窮える高校生の放課後からの生活と親子像

保育所の子どもたちと家族

高校生の教科書から見る「家庭の機能」

「つくる」ことで家族が見えてくる

あとがきとして

吉田 武雄

—乳幼児

研究所

—小学校

研究所

—中学校

研究所

—高校

研究所

関谷 美恵子

寺崎 洋子

丸山 喬子

研究所

娘の留学

「記念講演」

東郷 奈津

「特集」新潟県の大学と地域

新潟県の大学

「北から南から」

探鳥日記より 県北・村上の地から

春を待ちつつ、こたつで思う雑感いくつか

年輪俳句会

斎藤禮治

目黒和男

津幡 龍峰

研究所

「大学改革」と新潟大学

教員養成5千人削減と教育の空洞化

新潟国際情報大学・内山秀夫学長に聞く

新潟工科大学・阿部武雄学長に聞く

長岡造形大学・豊口協学長に聞く

敬和学園大学・北垣宗治学長に聞く

新潟経営大学・鳥羽欽一郎学長に聞く

「地域の大学」が身近になった

「新潟からの提言・大学が地域を変える」

渡辺 勇一
小林 昭三
研究 所
本田 敏彦
を讀んで
大塚 中

絵本の家「ゆきぼうし」の四季・春

〔記念講演〕

学校生活における子どもの権利（下）

〔不登校のついて思う〕

統計数値からうかがえること（その2）

近藤 明彦
藤田 昭
八木 三男

苦闘する大都市「ロサンゼルス・タイムス」の報道から

八木 三男

「どの子にもたのしくてよくわかる理科を」

科教協全国大会新潟で開催

小島 寿夫

〔親の目子どももの目〕

P T Aは誰のもの

瀬戸 圭子

『わらびっし』のこと

〔図書紹介〕

『新潟県農民運動史（戦前編）』

古厩 忠夫

「野球も勉強も」 高校野球と私

中野 芳彦

### 54号 (1998・7)

〔北から南から〕

姜先生

三和村での学習会？

「お袋の味」の「お」はどこへいった

八木 三男
寺崎 洋子
本田 敏彦

### 〔特集〕 「ムカツキ」「キレル」子どもたち

押しつけでなく子どもが生き生きする学校に（高校生の発言）

小島 寿夫

新たな「荒れ」にどう向きあったか

木村 哲郎

「キレル子ども」の背景

西 伸之

子どもに優しい学校運営を

高橋 武昌

親のこえに耳をかたむける

新潟県教育委員会に聞く

子どもたちが語りはじめる

本田 敏彦（文責）

バタフライナイフと権利条約・新しい教育運動の精神

吉田 武雄（文責）

「キレル」子どもの背景に何が

阿部 好策

教師はなぜキレルか

足立 定夫

ヒューマン・スケールの学級規模・学校規模を問う

三輪 定宣

子ども達に伝えたいこと

丸山郁子

人にやさしい町づくりをめざす

秋田県鷹巣町から学べること

小島萬里子

「わたしやてっぺん地球はまるい」

榎本栄次

レディにファッションショーを

太田昭男

「ひろがれ おいしい におい」

新潟県学校給食問題の講演と交流の集い

小坂邦男

辰野高校の「三者協議会」と「学校づくり宣言」のとりくみ

宮下与兵衛

〔図書紹介〕

田中角栄を裁いた人びと

片岡弘

地域経済の発展は地域の生活を豊かにする

斎藤保

〔各地のうごき〕

見えていますか、子どもたちのSOS

にいつ教育集会

親と教師がともに

新発田・TOMORROW

「食」を通して、人間・自然・環境をまなぶ

小千谷市

子どもの姿から学ぶ指導員(学童保育訪問記)

新潟市

〔北から南から〕

阿賀の源流「荒海山」

退職後の日々

「ガマ」の暗闇

荒木繁雄

佐藤守正

上地源光

〔特集〕新潟県の平和と子育て

母親座談会「平和問題と子育て」

広瀬喜代子・羽豆照子・塩谷玖美子・尾形とき子・高橋華枝

「新潟がカラになった日」女性の目から見た戦争

水品可久・遠藤春子

母親からの平和の思い

青年平和学校Ⅱピースエッグ98 in新潟

新潟の空は軍事空域

妙高山麓に「海兵隊」がやってきた

石川智仁

江端正樹

拡大強化される日米合同演習

嶋田五郎

チヨモランマに挑む

子どもが綴る米作り一年

ブルム学校 75人の韓国の小さな高校

小さな学校の大きな学校づくり四十年

佐藤賢

渡辺讓

八木三男

韓国の自生の学校づくり

尾花清

富樫厚彦

学童保育く児童福祉法改定で変わった事

松之山探訪バスの旅

鈴木 よし子

「教育課程審」 答申をみんなで検討しよう」

小 板 邦 男

「新幹線授業」は解消するか  
中学校の荒れを解消する道を考えているのだろうか？

小 林 朗

教育の中で格差をもちこむ答申

小 島 寿 夫

教育課程審議会答申にみる問題点と障害児教育の実践運動上の課題

竹 内 光 男

「図書紹介」

吉 田 武 雄

『裏日本』

編 集 部

「各地のうごき」

「ブナ」にかける大白川郷の人びと

50周年 (1998・12)

「北から南から」

大 塚 勇

「優しい」はどこから

吉 田 恭 子

小学生に貸した傘  
歌うことその後

本 田 敏 彦

「特集」不況下の新潟県の子どもたち

不況にもろい高教育社会

三 輪 定 宣

不況の中で就職できない

各学校進路指導担当者に聞く

小 島 寿 夫

今年の高卒就職状況

新潟公共職業安定所に聞く

編 集 部

新潟県商工労働部職業安定課を訪ねて

編 集 部

高等学校教育課に聞く  
座談会「高校生の就職にかかわって」

編 集 部

三ツ井 富士夫・藤田 昭・熊谷 直樹

グラフで見る高卒就職状況

本 田・小 島

就学援助制度を活用し、制度の改善に力をあわせよう

編 集 部

〈資料〉 修学資金が借りられるのを知っていますか  
新潟県奨学金・授業料減免と奨学金Q&A・  
再就職のための教育訓練給付制度

編 集 部

「有給教育休暇に関する勧告」について

「子どもの権利条約」は日本の子どもをどう見たか

竹 内 貴 美

県の単独事業「ハートフル相談員」制度とは

吉 田 武 雄

21世紀の大学像をめぐって

立 石 雅 昭

インドネシアの自然と子どもたち  
倭は特別な毒種

野 中 昌 法

ある共働き夫婦の子育て奮戦記

八 木 三 男

農業実習と子ども

小 板 邦 男

ムササビの子との出会いと別れそして再会を体験して

桐 山 京 子

仲 山 智 子

〔北から南から〕

今ベトナムの子どもたちは

美酒追憶

折居川 腰廻遺跡の発掘調査に参加して

長崎実明  
白川繁雄  
荒木雄

〔特集〕 高校教育の多様化と新潟県の子どもたち

高校が急速に変わっている

大学進学 — 普通高校の今—

商業高校「多様化」の中の子どもたち

工業高校の再評価をめざして

頑張る農業高校生

単位制に移行した明鏡高校

総合学科への改組 — 一年を振り返って

高校教育「多様化」と背後にある課題を読む

21世紀の高校教育をどうするか

— 教育課程審議会の答申を分析する —

上越春日中いじめ自殺訴訟

— 訴訟の経過と意義

伊藤准君裁判傍聴で思うこと

〔資料〕 最近のいじめ自殺

教師が輝く時 (一)

ロサンゼルスに病む

— アメリカ医療事情 —

編集部  
横山 潔  
細川 勉  
遠山 辰四郎  
飯田 耕平  
長井 芳朗  
山下 勝  
山田 勝  
佐々木 享  
近藤 明彦  
藤田 昭  
編集部  
中野 芳彦  
八木 三男

春を待つ、豪雪の津南「津南町自然に親しむ会」 中沢英正さんに聞く  
情報教育の現段階  
小坂 邦男  
小林 昭三

〔北から南から〕

インド車事情

子どもの遊びと公園

高木 伸二  
村山 晃司

〔特集〕 小学一年生

小学一年生は生育過程の重要な転換期

むかしの一年生と、どうちがうの

— 父母、地域と共同の子育てが大切 —

地域生活のある小学校のよさ

— 放課後の子どもたち —

先生方ともっと気楽に話したい

アンケートにみる小学一年生の生活と意識

一年の文字の勉強は生涯のたから

どこまで教えたらいいの？

— 一年生の算数 —

編集部  
立石 由美  
横山 英子  
片岡 弘  
高橋 武昌  
高橋 武昌  
立石 由美

新潟県の一年生一クラスあたりの人数別学級数

「日の丸・君が代」問題の現在

小坂邦男  
成嶋隆

『自分』はみえない  
戦争と平和

竹本敏恵

韓国における最近の「朝鮮戦争」論と「新ガイドライン」

八木三男

学校に行かなくなった子どもたち

熊谷直樹

インドネシアの自然と子どもたち (2)

野中昌法

教師が輝く時 (1)

中野芳彦

奥三面遺跡群と自然を学ぶ見学会

鈴木よし子

5月号 (1999.8)

「北から南から」

引退もできぬ

風間勇作

都知事選・その後の三上満さん

松崎道子

未組織労働者とともに十二年

高橋作衛

「特集」就学前の子育て

「子育て共同」とはどういうことでしょうか

編集部

子ども・大人・保育園 ―みんなが育つ保育園

広井茂道

小児科医から見た今の子ども

診療25年の体験を通じて

佐野康子

噛まなくなった食生活

歯科医から見た今の子ども

谷田部雄二

(年齢別保育の課題) 自然に触れて、人と出会って、豊かな乳児期

菅井美佐

三歳児をとりまく人間関係

遠藤まゆみ

四歳半 ―発達の転換期、仲間の中で子どもは育つ

小出美登里

わたしを見て！伸びようとする力をどう見守るか

上地元子

五歳児の保育

丸田美枝子

新潟県の幼稚園

就学前「子育て」研究部会

エネルギー節約による地球温暖化抑制の観点から

関根征士

奥三面の遺跡と自然

川上真紀子

少年法改正に反対する

近藤明彦

「実践報告」

小学生と「分教とは何か？」を考える授業

岡野勉

「資料室」 保護者・地域住民が学校の教育計画に参画する

編集部

〔北から南から〕

たかが五分されど五分

大男の涙

東海村臨界事故

吉田 三男  
福本 キヨノ  
鈴木 よし子

〔特集〕新潟県の教育行政のいまと問題点

新潟県における日の丸・君が代、30人以下学級

〔少人数学級〕実現運動の成果

〔高校再編計画〕と県内各地の反応をみる

小さな高校の生き残りを賭けた奮闘

吉川高校は地域の宝

〔チャレンジ21教育推進運動〕とは

〔町小〕のチャレンジ21教育推進運動

地域の現実と関わりながら自己発見がはじまる  
湯沢町におけるチャレンジ21教育推進運動は

三輪定宣セミナーに参加して

八木 三男  
吉田 武雄  
編 集 部  
安田町と安田高校ルポ  
本 田 敏 彦  
吉川町・吉川高校ルポ  
小 島 寿 夫  
編 集 部  
川 島 和 弘  
編 集 部  
湯沢町におけるチャレンジ21教育推進運動は  
佐 藤 守 正  
野 沢 洋 子

戦前・戦後を生きて

―加害者は被害者の心の底に迫れるか

新潟大学の国旗・国歌強制問題とその背景分析

矢口 仁也  
渡辺 勇一

新潟県の高校生の就職状況と産業構造

高校の就職教育と子ども人間発達

〔図書紹介〕

『にいがたレポート不登校』

育ち合う子どもたちを地域が支える

―燕市『学童保育』シンポジウムの報告

〔小説〕

『出発(たびだち)』

〔資料室〕

『今後の本県高校整備の方向について』

(新潟県教育委員会)

〔北から南から〕

俺たち、中学生がんばっているんだぞ！

「おやこリズム」は育ちの場

父の綴り方教室

〔特集〕中学一年生

序列の仕組みに入る中学一年生

表層の読みから深層の読みへ

―中学一年生の国語の学習―

小島 寿夫

三ツ井 富士夫

藤田 昭

本田 敏彦

嘉村 亨

安藤 美和子

藤井 武子

山本 裕子

吉田 武雄

五十嵐 淳

プラス・マイナスと文字式が要

中学一年生の数学の学習  
鷲頭靖夫

「英語がらい」はなぜ

中学一年生と英語  
新英語教育研究会新潟支部

中学一年生になって成長したと思うこと

大田次郎

近ごろの中学生

石原充之

中学校はどんなところ？

編集 集部

初めての中学校

玉井弓子

命の尊さ、生きる喜びを子どもに伝えたい

児玉義明

私の日の丸・君が代の授業

小林正弘

よい授業のつみかさね…それしかない

君が代と音楽の授業

立石由美

新潟大学の日の丸問題とレッド・パーシ

福本安正

「図書紹介」

『秋雲の街』

藤岡貞彦

上越市の教育補助員制度について

江平稔

養護教諭の仕事とは

保健室の今日的役割

田口孝

多人数学級解消をめぐる小出町の現状

住安孝夫

燕の地場産業はいま

本多了一

中条町湧水の生物と保護運動

富樫厚彦

新潟市の大型店と中学…高校生、その生活

小坂邦男

「北から南から」

「森発言」に町の床屋さんも怒っているぞ！

「とべないホタル」の歌声をきいた

新潟に移り住んで

水落勝

本田敏彦

井上洋子

「特集」いまこそ「家族」を考える

いまこそ「家族」を考える — 日本型企業社会と「家族」

編集 集部

中教審答申 「幼児期からの心の教育の在り方について」を読む

本田敏彦

「家族」に関わる福祉政策

— スウェーデンと日本との家族支援政策の比較を中心に

植木信一

教科書にあらわれた「家族」をどうみるか

寺崎洋子

「家族」の一員をやり直す — 主夫見習いでみてきたもの—

本田敏彦

家計と家族

鈴木よし子

安心して食べられる食品と家族団らん

そして地域社会の協同を求めて

田家真澄

「資料」 「家族」に関する国際文書のいくつか

息子から父への命のプレゼント 肝臓移植で深まった家族の絆

児玉義明

「ひろがれ おいしい 給食のにおい」

地域農業の発展と豊かな給食実現を

ウチナーンチュと天皇・国家主義

「子どもの虐待問題セミナー」

200名を超える子どもの専門家が集う

「ガイドライン法」強行一周年集会

ロシアの子どもたち

鈴木 よし子

上地 源光

竹内 貴美

小坂 邦男

関 啓子

## 63号 (2000・11)

「北から南から」

布の話

今、図書館が面白い

(スイスで思う)子どもを育む共同の理念

鈴木 美和子

倉 沢 春代

長 崎 明

### 「特集」子育て・教育の各段階が当面する議論

子育て・教育の各段階が当面する議論を特集した意図

子育て家庭のよりどころ「地域子育て支援センター」の発展を

親たちが安心し、子どもたちがいきいきする放課後の生活を

編集 部

小坂 邦男

本田 敏彦

子どもたちの学力は心配ないか

新指導要領と「総合的な学習の時間」の新設

高橋武昌・細貝正人・片岡 弘

高校入試が変わった 悩む子ども・親・教師 小林 朗

成人としての十八才の権利と責任 少年法改正と高校教育 小島 寿夫

高校生の現状と自主活動のエネルギー 藤田 昭

わたしのほうを向いて説明して下さい

ある総合病院の入院体験から

八木 三男

「新潟県ミレニアム美術展」のお知らせ

子育て・保育を考える

「21世紀の保育を切り開く新潟県保育研究集会」の報告

小坂 邦男

鈴木 よし子

小島 寿夫(文責)

工藤 和雄

〈資料〉新潟県弁護士会会長声明

国民・県民に役立つ「行政改革」を考えるシンポジウム 吉田 武雄

「農業・農業教育の展望を模索している人たちが出会った」

県農協中央会と高校再編を考える会の懇談会

すべての子どもたちに奉仕活動を義務化(法制化)する等の

「教育改革国民会議」政府・与党の試作に反対する

研究所総会決議

「北から南から」

ほつとして批判をこうこと

伊藤 岩

サッカーくじのテスト販売が行われました

青少年への影響が心配です

町田 章

あなたの年表には何才までの予定欄？

目黒 優

教育改革国民会議報告をどう読むか

補論―教育基本法の現代的意識

三輪 定宣

【特集】変貌する日本と新潟の教育

東京都の教員の人事考課

山田 功

〔資料〕東京都の教育職員人事考課制度

「チャレンジ21教育推進運動」と学校評議員制

八木 三男・吉田 武雄

「職員会議」は校長権限の「補助機関」でよいのか

三ツ井 富士夫

ただいま10歳、今を輝いて生きる

金森 俊朗

宗派をこえて平和の世紀が来るように祈った

本田 敏彦

平和運動に神も仏もある…サ

雲尾 保喜

戦後五十五年八月六日八時十五分

上島 一高

「こんなに変わる日本の教師と職員室」

教育職員審議会の描く教師像と問題

山口 和孝

国立大学の独立行政法人化と教員養成系大学・学部部の統廃合問題

森田 竜義

最近の少年犯罪を考える

足立 定夫

「下仁田自然学校」への誘い

小林 忠夫

「山よ、川よ、むらよよみがえれ」

第13回森と自然を守る全国集会 in 村上の意義と今後の運動

野中 昌法

「安田町にいきづく高校像を求めて」

教職員の奮闘を支える校長の役割

本田 敏彦

「北から南から」

ムラが育てた子ども

堀越 久甫

ひとすじに生きる・とは

子ども達の願い

宮川 哲夫

「安田町にいきづく高校像を求めて」によせて

安保 サイ

【特集】児童虐待・いじめ・不登校（登校拒否）

新潟県教育委員会に聞く

―虐待・いじめ・不登校について

編集部

子どもの問題行動と児童虐待

新田 初美

児童虐待防止法を読む

近藤 明彦

『いじめ防止学習プログラム』をどう受け止めるか

— 現場からの報告 —

登校拒否について考える

新津アーベルの会

新発田地区・二〇〇一年のTOMORROW

長岡・コーヒーブレイクの会のご案内

細貝正人

熊谷直樹

川瀬成江

米山えみ

田口孝

堀尾セミナーのご案内

インタビュー・小林達雄さんに聞く

研究所主催ミレニアム美術館に参加して

戦後の歴史教育・歴史教科書に対する攻撃

「アピール・教育関係者の声明」

大江健三郎氏ら17人が発表した声明

「中島信さんの報告」

「吉野川河口堰問題」から学んだこと

『裏日本』を超えて

「子育て・文化共同一六回集会」

四万十集会在が意味したもの

新潟市中学校給食を自校直営方式でと願う理由

「生徒・父母・教職員の協同による手作り集会」

「私学のひろば二〇〇一」

八木三男

城丸明男

松原直樹

編集部

吉田武雄

古厩忠夫

野々垣務

鈴木知子

渡辺利宏

66号 (2001.7)

「北から南から」

イチローにはまる

アンデパンダン展に思う

「ケチ」の言いぶん

八木三男

中川セツ子

中野芳彦

「特集」学習障害(LD)・注意欠陥/多重性障害(ADHD)

国連は加盟国に「特別なニーズ教育」の取り組みを求めている

子どもの困難にどう向き合うか

登校拒否・多動・学習障害児教育の背景

ADHDの理解と対応

LD(学習障害) 周辺の軽度発達障害

学習障害(LD) 児を支えその支援の輪をひろげてきたわたしたち

(インタビュー) 「稲穂の会」代表沼田夏子さん

県内のLD児ADHD児の現状の把握

新潟県教育委員会を訪ねて

本田敏彦

窪島務

稲月まどか

新田初美

編集部

「米百俵」の精神の本当の意味

八木三男

「特集」新潟県の自然と社会

(教育と自然)の現在

刈羽村のプルサーマル住民投票を考える

タンポポ調査からわかる身近な自然の現状

十五歳の環境問題

新潟の自然にふれて

安藤 聡彦

小林 昭三

森田 竜義

鈴木 知彦

東郷 奈津

危ない教科書がやってくる

新潟市教職員組合

第六回登校拒否・不登校問題全国の集い案内

第四一回社会教育研究所全国集い案内

民主教育研究所

編集部

編集部

67号 (2001・9)

「北から南から」

国のため人のため子どものため

創立45周年に思う

川虫も元気子どもたちも元気

集団療法的相談活動がひろがる

―長岡市コーヒープレイクの会報告を聞いた

あずま こうじ

野沢 静義

富樫 繁春

鈴木 よし子

鈴木 よし子

「特集」子どもの「学力の危機」とはなにか

子どもの「学力」問題を考える

片岡 弘

小学生の学力低下がおきてくる現実  
中学生の学力が危ない!

理科学力の危機 自然科学をすべての国民のものに

大学生の学力低下問題

桑名 紀子

小林 朗

小島 寿夫

小林 昭三

「小特集」改正された教育三法と教育現場

だれもが「指導の不適格教員」になりうる

奉仕活動はボランティアではない

「出席停止」子どもはよくなってゆくのか

高校通学区撤廃で、学校問題差は拡大・固定化される

河合 靖久

高橋 武昌

上杉 俊孝

三ツ井 富士夫

「堀尾ゼミ講演要旨」

「地球時代」とその教育の視点

人権・平和・共生を教育に根づかせたい

堀尾 輝久

社会福祉の実効性と国際的基準

市民的レベルと国家的レベルとの協同

「清津川ダム」問題

十五歳の少女の戦中日記「自彊簿」抄

太平洋戦争末期の中等教育と家庭

少女の戦中日記をよむ

植木 信一

佐藤 守正

樋川 道子

八木 三男

「学閥」による組合支配の実態とその意図

新潟市教組の場合  
高橋 武昌

「北から南から」

経済と道徳と教育

イチローにはまる(二)

「メブラーナ」と「念仏踊り」と

『大江山の明日を拓く』の発刊にあたって

村川健吉  
八木三男  
野口清人  
木村隆利

「特集」国の財政出動の動向と新潟県の教育

小泉内閣の「構造改革」と選別教育の推進

—財政出動の視点から—

大学構造改革(遠山プラン)と地方大学

新潟県の「高校整備計画」の現状と問題点

県教委の「高校整備計画」は地元の手強い反撃を受けている

「高校再編計画」県北村上地域の場合

「高校整備(統廃合)計画」の推進—柏崎の場合

「高校整備計画」—佐渡の場合

〈座談会〉「にいがた字びはつらつプラン」のスタートは

小学校をどう変えているか

高橋武昌・立石由美・武藤雅文・小坂邦男

在日朝鮮・韓国人混住地域での不採択運動

スウェーデン・デンマーク・ドイツの環境教育

三輪定宣  
谷本盛光  
編集部  
牧野秀樹  
内山雄平  
竹原啓隆  
高松保夫

編集部  
尾花清

小泉首相 今度はダーウィンをもちだした 田村栄光  
同時多発テロと報復戦争についての新潟県高校生アンケート 小島寿夫

服従か開放か、あるいは関係の質の改革か

子どもの権利論の基本問題をめぐって

世取山洋介

「北から南から」

朝日を拝む

ふつてわいたような

自由民権と仏教改革

憲法・教育基本法「改正」問題の意味するもの

桑原春雄  
川原緑  
長崎明  
成嶋隆

「特集」多様な市民的教育運動の中の母親たち

特集について

地域の子育て・教育文化活動と親・住民達

新潟県のLD(学習障害)児・者の教育運動

全国LD親の会新潟支部「いなほの会」

代表沼田夏子さんが語る

寸劇を通じ子どもたちとつくりあげる「人権教育」

CAPにいがた代表石附幸子さんに聞く

編集部  
佐藤一子  
編集部  
編集部

登校拒否・不登校を考える地域ネットワークづくり

放課後の居場所をつくる児童保育

子どものための「まともな」文化環境づくり

のぎくを支える輪 — おやこ劇場の取り組み —

子どもの権利条約にいがたの会の11年から  
長岡の地に「教育ネットワーク」の輪を広く

三人のお父さん・お母さんのこと

熊谷直樹  
丸山尚子

柳弘紀

小野塚 テイ子  
竹内 貴美

向後 秀子

【図書紹介】

高橋武昌著『子どもと教師が輝く日』

木村 哲郎

スウェーデン・デンマーク・ドイツの環境教育(その二)

魔女あるいは悪魔幻想

立石 由美  
八木 三男

【大江健三郎さん講演事態】

三条高校笠原校長問題

新潟公立高教組文部

【沈黙の犯罪「性的虐待」の諸問題】

第三期子ども虐待問題セミナー

吉田タカコ氏・奥山真紀子氏講演要旨

編 集 部

7月号 (NOON・6)

【北から南から】

ささやかな国際化

坂井 希美子

孔林の楮

仲間から学ぶ

愛知の県立高校再編計画について思う

【「戦争国家」づくりはごめんです】

有事関連三法案に反対する学者・研究者共同アピール(資料)

八木 三男  
本間 晃  
大橋 基博

【特集】総合学習と少人数授業

総合学習と少人数授業(編集の意図)

編 集 部

学びの場の編み直し — 総合学習と少人数授業

岩川直樹

私たちは奇跡的存在

小学校三年生とともに創る性と死のいのち・生の学び

金森俊朗

佐梨川がつくる私たちの村

— 湯之谷じまんさがし —

目黒和男

ヒロシマ修学旅行に向けた平和学習の取り組み

和澄利男

『内外教育』からみた総合的な学習

習熟度別ではなく、少人数学級の拡大を

小坂邦男

高校での「少人数学習」「習熟度別学習」の経緯と課題

三ツ井 富士夫

われわれはどう改革をすすめるか

糟谷 憲一

スウェーデン・デンマーク・ドイツの環境教育(その二)

立石 由美

新潟にワールドカップがやってくる

—新しい世紀へのキックオフ—  
田中県政と「信州の教育と自治研究所」  
「学校文化」を敵視する東京の「主幹」制  
「佐渡の一島一市」について  
おしつけ合併は黒埼町民に何をもたらしたか  
上越春日中いじめ自殺事件判決

佐山雄二  
山岸啓磐  
柿沼昌芳  
山本勝一  
小島寿夫  
近藤明彦

71号 (2002・8)

「北から南から」

外国の子どもたちの週末  
文章教室

「杉の越文学会」のこと

鈴木美和子  
東郷奈津  
小島寿夫

「特集」学校完全五日制がはじまった

学校五日制と学力問題

学校五日制がはじまった

—親・教師・行政が抱え込んだ五日制の課題を探る—

学童保育が六年生までになった

—上越市の五日制のとりくみ—

長岡市の児童館・児童クラブと学校五日制

全小学校区に設置へあと二つ

地元紙からみた学校五日制

五日制が提起している問題とは

大谷 猛夫

本田 敏彦

編 集 部

竹島 良子

吉田 武雄

第48回新潟県母親大会「五日制が始まって」分科会より

「ゆとり教育」にならない五日制

五日制で忙しさに追われる学校

子どもたちに豊かな土曜日と居場所を

はじまったばかりの自治体の取り組み

アンケートにみる県内の小・中学生の学校五日制

高橋 武昌  
小東 由男  
上杉 俊孝  
編 集 部  
編 集 部

清津川ダム計画は中止

新潟県の二〇一三年までの「新高校再編計画」

いま、中学をどう変えるか？

—カリキュラムと学校づくりの議論を—

佐藤 守正  
斎藤 進

阿部 好策

いま、紙芝居が見直されている 藤田勇さんを訪ねて

小坂 邦男

「第44回自治体学校のシンポジウム」

「開かれた学校づくりと地域の教育力」の報告

くちやねのプール

南イリノイ大学新潟校の生き残り策と中条町政

スウェーデン・デンマーク・ドイツの環境教育（その四）

本田 敏彦  
八木 三男  
丸山 孝博  
立石 由美

72号 (2002・12)

「北から南から」

ワイワイガヤガヤ

私の問題関心

白みそめた稜線

金子 善八郎

岡本 藤一

八木 三男

「特集」幼い子たちと「いい人間関係」

生きる喜びを伝え合う保育園

保育の環境に急激な変化 廣井茂道さんと小林彰さんに聞く

保育分野にかかる政策動向と影響する課題について 編集 部

保育についての最近の新聞論調

たんぼぼ保育園の実践 編集 部

保育園保健職とは 井上 薫

どきどき、わくわくして遊ぶ 神成 礼子

ジャカルタからスラムパギ(おはようございます) 上 地 元 子

井上 朝香

牧 裕子

植木 信一

井上 薫

神成 礼子

上 地 元 子

井上 朝香

「第4回新潟県保育研究会の分科会」

食事／吉田武雄・保健／小島寿夫・美術／小坂邦男・障害／竹内

光男・絵本／鈴木よし子・手づくりおもちゃ／本田敏彦・南中ソ

ーラン／小坂邦男

新潟県の市町村合併と教育

福島 富

若月又次郎先生のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表します

長崎 明

長野知事選後がもたらしたもの ―選挙後の状況と課題―

県立奥三面総合博物館設立をもとめる運動

七町歩の稲作経営と子育て

山岸 啓盤

川上 真紀子

小野 和子

73号 (2003・3)

「北から南から」

世界の田舎・アイルランドを旅行

「賓 客」

子どものかわいさが、私の力になって

宮本 徹

土田 光男

西澤 恵美子

「特集」新潟県の高校生―1000人に聞きました

アンケート「新潟県の高校生」学習・学校・生活

1000人の高校生に聞きました 研 究 所

「携帯電話」では孤独感は埋められない

「高校生の携帯電話アンケート調査」(県高長協会編)をよんで

ある実業高校の危機的な高校生の就職事情 藤田 昭

「つくられた理科嫌い」と物理教師 鈴木 章子

進路意識の形成に役立った総合学科 三ツ井 富士夫

「石井小夜子氏(弁護士)の講演から」 内山 雄平

少年非行・苦しみと望み

「よみがえれ鳥屋野湯」 木村 哲郎

鳥屋野湯裁判勝利以後の住民運動と行政の対応

絶対評価と高校入試

久保田 幸雄  
小林 朗

四十代女性に大きな格差 ―パソコン能力調査から―

小林 裕子  
小坂 邦男  
中野 芳彦

学校給食が民営化（PFI方式）していいのか

中野 芳彦

非戦を話し合いたい

74号 (2003・7)

〔北から南から〕

街の手品屋

教育基本法改正の嵐の中で

雑感

福本 キヨノ  
菊地 一郎  
横山 潔

〔特集〕新潟県の体育・スポーツ

特集にあたって

中教審答申

「子どもの体力向上のための総合的な方策について」を読む

「体育・スポーツ国際憲章」の意義を再確認しよう

新潟の子どもたちの生活の変化とスポーツ活動

県教委の体力向上策を聞く

久保 健  
関 春南  
山崎 健

―行政は学校、地域、国体をどう考えているか―

編集部

子どもの運動能力低下、なにが問題か

―小学校の先生がたに聞きました―

改めて問う、体育は何を教える教科なのかと生徒がつくる高校体育授業

丸山 学

「ハピスカとよさか」の橋本弘さんに聞く

ビッグスワンに医学センターが羽ばたく

医学センター、村山氏に聞く

編集長として初めて体育理論を学んだ

「中高校の健康とスポーツ」

ウォーキングの思わね効用

これも山登り

私の”よさこい荒川音頭”

水中運動で筋力アップ

山登りと禁煙

「教育基本法改正」県民公聴会を開催して

ハンセン病問題は終わっていない

熊本判決一周年

「新潟県立植物園」が目指す新しい植物園像

酒場亭主の放送大学

チエコを訪ねる

近藤 明彦  
醉山 省三  
松山 雄二  
高木 伸二  
立石 由美

75号 (2003・9)

吉田 武雄  
編集部  
丸山 学

稲垣 千賀子  
鈴木 よし子  
舘島 みよ子  
倉松 妙子  
酒井 義栄

編集部  
本田 敏彦

近藤 明彦  
醉山 省三  
松山 雄二  
高木 伸二  
立石 由美

「グラビア」 イラク戦争  
平和のためのアピール(2003.7.20)

「北から南から」

車庫の上のアトリエ

日々是好日

二つの住民投票条例案 — 南魚・大和町 —

杉本祐一

研究所

城丸明男

甘粕静枝

土田光男

「特集」 平和な21世紀にするために

イラク戦争 — バグダットの22日間 —

小池加茂市長の勇気ある行動に励まされて

有事立法・イラク派兵法と新潟県

ブッシュ戦争断章 「悪魔」が生きている国

教育基本法第10条と戦争と平和

教育基本法全文

8.6にいがた宗教者平和の集い — これまでとこれから

「長岡戦争資料館」ができた

新潟県人による反戦平和の歌

原水爆禁止世界大会に参加して

私たちの平和の願い

井上哲郎・長井珠生・柴田かの・里村美枝子・青木寛子

広島市長・長崎市長 「平和宣言」

「いま平和のために — 私の発言」

吉田忠義・長谷川武夫・井口隆一・本間勝・菊地一郎・宮川哲夫・岩崎彩香・青柳  
倫奈・鈴木知彦・高橋輝成・小林充子・遠藤崇・木村隆利・村野明・鈴木芳子・  
和澄利男・石田徹 高橋真澄・高橋作衛・富樫昭次・小堺正司・石川市郎

教育基本法を見直せば子どもたちは健やかに育つのでしょうか

梅原利夫

76号 (2004・1)

「北から南から」

印刷屋の末路

フランスからお嬢さんがやってきて

石臼

赤沢邦男

宮本幸子

吉田武雄

「特集」 ハンディキャップを抱えた子どもたち

父親の会を通して考える 思春期の子どもたちの今昔

三十歳を越えた息子よ、一歩でも前へ

とじこもりの息子とともに中国へ

もつと対応してくれたら、学校

〈資料〉

平成14年度いじめ・不登校調査の結果について

(県「教育月報」から)

いつの間にか二十八年 — ダウン症のわが子とともに

今井楯男

阿部健一

石黒稔

石橋雅也

星山ひろ子

世界の意味を伝えたいー自閉症のわが子へ

時津聖子

小さな平和運動  
理念なき新発田市・豊浦町の合併劇

菅原賢明  
佐藤豊雄

文科省「今後の特別支援教育のあり方」を読む

竹内光男

〈資料〉

今後の特別支援教育のあり方について（最終報告）のポイント

文科省

特別支援教育が必要な子ら、早期発見が急務

新田医師インタビュー

編集部

新潟県の特別支援教育の現段階

佐藤 仁さんに聞く

編集部

吉田町養護学校設立運動

今井照恵

軽度発達障害児への通常学級における支援  
Q & A 「特別支援教育とは」 — 住民と自治から

川辺朝子

「教師は何をしなければならないか(1)」

荒れた中学校から

亀山裕

教育基本法「改正」と「心のノート」

教育基本法改悪反対12・23全国集会アピール

俵 義文

燕市における合併問題

吉田武雄  
首藤隆司

77号 (2004・3)

「北から南から」

「身土不二」？考えてみませんか

坂本典子

「特集」新潟県における教員統制と管理

〈座談会〉若い教員の生活と意見 — 幼・小・中・高—

編集部

新潟県の教職員の勤務・健康・生活 — 緊急アンケート調査から

片岡弘

教育と民主主義と侮蔑

教育破壊が進む東京都

八木三男

新潟県における「優秀教員」と「指導力不足教員」

柿沼昌芳  
斎藤進

〈資料〉

「教員の地位勧告」の適用に関するILO・ユネスコ共同専門委員会報告  
— 日本教職員組合（全教）による申し立て—

編集部

「思想的に偏向している教職員はいるか」 豊栄市教委の文章から

板橋育夫

中学校の授業と子ども

いのちと平和

小林朗  
吉原賢二

「教師は何をしなければならないか(2)」

休みがちな子どもたちの親とともに

亀山裕

佐渡の自然と保全の課題

「コラム」

警視庁が受け取り拒否

藤田昭

福原晴夫

「北から南から」

「蜘蛛男」を読む先生

邑久長島大橋

浦島 太郎

なかむらみのる

八木 八重子

東郷 奈津

「特集」教育・学校に求めるもの

特集の趣旨

国連子どもの権利委員会の最終所見にみる教育改革の問題点

「父母の変化」が意味するもの

卒業式・入学式の栞にわが子の名前がない

―紫雲寺町人権侵害事件の報告

教育の楽しさとおかしさなど…

―退職を迎えて考えたこと―

学校は地域に何ができるか

―地域に根ざす教育の創造を今の状況に対峙して

いま、教育・学校に求めるもの ―私の発言

石田徹・小林正彦・丸山敏夫・S高校第一期卒業生・田山寛樹・鈴木芳子・高橋真澄・中学生の母親・刈田行夫・鈴木和彦

編集 部

近藤 明彦

森 拓人

板橋 育夫

河合 靖久

高橋 武昌

編集部

小泉首相の靖国参拝は違憲 ―福岡地裁判決の意義

成嶋 隆

イラク日本人質事件の自己責任を喰う

杉本 祐一

はじめて認めた国の責任と賠償

―新潟港中国人強制連行・強制労働事件―

佐藤 茂

「図書紹介」

八木三男著『予後の風色』

吉田 三男

「臨床現場からの報告」

「ひきこもり」の概念について

今井 楯男

金森俊朗著『いのちの教科書』を読んで

―親子、先生みんなでハッピーを創る教科書に

児玉 義明

「世界子ども白書2004」を読む

藤田 昭

春日遅遅

「教師は何をしなければならぬか(3)」

八木 三男

青春を駆けぬけた少年(前編)

亀山 裕

飛騨白川郷から越後村上まで ナシエナルトラストの活動にふれて

外山 啓

「北から南から」

ミニスカートと男の子を持つ親の願い

刈田 行夫

さわやかなボランティアの高校生  
子育てはいっつまで

河合 アツ子  
山本 豊子

「迷走するカリキュラム・精神の自主性を奪う」「日の丸君が代」の強制

【特集】 『迷走する』カリキュラムと新潟県の学校

数値が舞う学校で苦しむ教師と子どもたち  
「迷走する」教育課程と今後の教育実践の方向  
〈座談会〉 少人数指導と習熟度別指導の問題

小林 朗  
梅原 利夫

小村均・三条浩・大川真人

悩みはつきない — 「少人数指導」による「習熟度別授業」

編集部

「発展学習」教科書におどろいた  
小学校におけるパソコン指導の位置  
初めて体験した「総合的学習」

立石 由美  
向後 秀子  
小東 由男  
高橋 勇治

「総合的な学習時間」の実態と教師の悩み  
迷走するカリキュラム、理数力を再生するカリキュラム

加藤 真澄  
小林 昭三

【小特集】 東京都と新潟県の「日の丸・君が代」問題

暴走を続ける東京都の教育行政  
「戒厳令」下の東京都の公立学校  
やはり卒業式は生徒が主役  
新潟県公立高校における「日の丸・君が代」

平松 辰雄  
片山 むぎほ  
小島 寿夫  
内山 雄平

全県学力テストを実施し、成績を市町村単位で公表する

【随想】

日本人の食事とその儀式

八木 三男

「教師は何をしなければならぬか（4）」

青春を駆けぬけた少年（後編）

亀山 裕

80号 (2004・1・2)

「北から南から」

子どもと教育の受難時代と「新潟の教育情報」

小野 敬一郎

『黒い雨』を読み返す

薪ストーブを楽しむ

稲葉 範子  
霜野 好克

【特集】 研究所創立二〇周年

二十周年にあたって

長崎 明

研究所の理念とその展開

創立二十周年によせて

にいがた県民教育研究所現況報告

八木 三男

友好団体からのメッセージ

研究所

民主教育研究所・堀尾輝久／信州の教育と自治研究所／いしかわ県民教育文化センター／にいがた自治体研究所／子どもの権利条約にいがたの会

会員、現、旧からのメッセージ

吉田三男・松崎道子・土田光男・三輪定宣・板橋育夫・高橋直栄・長谷川武夫・色平幸雄 三ツ井富士夫・吉田武雄・小熊隆・村川健吉・恩田一夫・熊

谷直樹・相馬清・鈴木美和子 大塚勇・宮川哲夫・菅原賢明・木村隆利・鈴木よし子・本田敏彦・内山雄平

【緊急小特集】新潟県中越大地震

激震地 川口町より

河合靖久

中越地震と土砂災害

立石雅昭さんに聞く

編集部

安心感・信頼感・人とのつながりを

田口孝さんに聞く

藤田昭

「山古志が好きだ、山古志に帰りたい」

安戸真知さんに聞く

小坂邦男

中越大地震の現場から

中村加代子さんに聞く

本田敏彦

教育基本法「改定」の歴史状況

八 鍬 友 広

「教育基本法の改悪をとめよう」11.6集会に参加して

内 山 雄 平

義務教育費国庫負担制度と「三位一体改革」

三 輪 定 宣

【随想】

論言汗の如し

八 木 三 男

「ベトナム視察旅行記（1）」

ベトナム、アオザイ姿の美しい女たち

内 山 雄 平

「臨床現場からの報告（2）」

「共感することのむずかしさ、しかし、そのことがもとも大切である」

今 井 楯 男

「教師は何をしなければならぬか（5）」  
みんなの思いを熱きいじめ集会に（前編）

亀 山 裕

81号 (2005・3)

「北から南から」

定年後は芸術学

親子リズムは楽しいね

引越して思うこと

大 滝 浩 道  
荻 原 恵 子  
鈴 木 よ し 子

【特集】新潟県の進学問題

「新潟県の進学問題」について

新潟県の高校生の進路状況

大学進学の意味を問いなおす

新潟県の「大学進学率」と進路指導問題

編 集 部  
斎 藤 進

高すぎる親の経済負担

三 ッ 井 富 士 夫  
三 輪 定 宣

〈資料〉

新潟県の奨学金・授業料免除制度

編 集 部

高校教育のあり方が問われている

新潟県の高校再編問題

中高一貫校とその懸念

宣誓の奮闘だけが頼りの総合学科

その実際と可能性

長 井 芳 朗  
藤 田 昭  
内 山 雄 平

単位制高校で学ぶ子どもたち  
高校改革で変わる中学校教育

小島 寿夫  
小林 朗

勉強という束縛 本来勉強は、人間を楽しく、幸せにするもの

堀内 順子

風土に合った学校を 二学期制は長岡市にふさわしいのか

河合 靖久

〔随想〕

七十にしてなお樹を植う

八木 三男

事務職員「退任」と「新任」の挨拶

研 究 所

子どもたちが生き生きと学ぶ算数の授業

岡 野 勉

「量をどう教えたか」 — 学校ぐるみ算数の実践 —

保田小学校の実践がいま問うもの

吉 田 武 雄

〔臨床現場からの報告(3)〕

ひきこもりの人たちの震災体験

今 井 楯 男

〔教師は何をしなければならぬか(6)〕

みんなの思いを熱きいじめ集会に(後編)

亀 山 裕

82号 (2005・6)

〔北から南から〕

彫刻家原田折男さんのこと 地球を縫う人

桂 宏 子

私の日本古代史探求 天皇制国家形成の実像を求めて

田 邊 堯 正

〔肩の力〕あれこれ

星 真 人

〔特集〕 東京都における学力調査と職場

足立区における学力テスト結果の公開 橋本敏明

今、東京の学校で起きていること

「人事考課体制」は学校をどう変えているか 宮下 聡

〔特集〕 新潟県の学力調査と結果の公表

県教委、学力調査の結果を公表 片岡 弘

全県学力調査の結果と聖籠中学校 町教育長坂口眞生さんに聞く 吉田 武雄

「学力調査」の結果の公表について

— 県教委義務教育課にインタビュー —

新潟県の義務教育における学力向上のための提言(抄) 内山 雄平

中学校の現場から 木村哲郎さんに聞く 編 集 部

県教委が公表した「学力調査」の結果についての覚書き 結果をどう扱いこれからどうするか 編 集 部

学力の国際比較 八木 三男

「競争の学力観」と「連帯の学力観」

二つの国際学力調査報告関係論文を手がかりに 小林 昭三  
本田 敏彦

【特集】憲法・教基法「改正」をめぐる

市民からの手紙

吉田三男・赤城正男・井浦和子・本間正人・高山伶・津幡龍峰・細野ヤエ  
憲法・教育基本法の精神を記念碑に刻む  
菊地一郎  
「高校生憲法意識調査」を読む  
小島寿夫

【随想】

なみちゃんとはかせ

空爆にあつた街々

「ベトナム視察旅行記(2)」

農業視察

「佐渡における演劇活動(1)」

羽茂高校「赤泊分校」での演劇活動

803号 (2005・9)

【北から南から】

絵を描くことの幸せ

ポンピングパワーのつばやき

【特集】深刻化する教科書問題

「つくる会」教科書の採択を許さなかった新潟市のたたかい

「つくる会」の新潟市議会への請願書

「つくる会」教科書問題ニュース

田中俊之  
編集部

須田明子  
中島哲宏

八木三男  
立石由美  
内山雄平  
山本勝一

日中韓の共同歴史教材「未来をひらく歴史」と  
「新しい歴史教科書をつくる会」教科書の比較検討

笠原十九司

埼玉県教育委員問題のその後と「つくる会」教科書

「教育と自治・埼玉ネットワーク」の活動を中心に

藤田昌士

現場からみた使用教科書の問題点

国語(中)五十嵐淳・英語(中)宍戸真知

音楽(小)立石由美

理科(中)和澄利夫

編集部

【憲法・教育基本法「改正」と戦後60年】

憲法・教育基本法「改正」問題の現段階(上)

成嶋隆

子どもは大人の道具ではない

川上真紀子

戦後60年にあたって思う

市民からの手紙―菊地一郎・森山良夫・本間勝

編集部

【随想】

茶をのむ

農業と短歌 わたくしの人間形成

「佐渡における演劇活動(2)」

羽茂高校「赤泊分校」での演劇活動

【資料室】

「自民党新憲法草案案文」(全文)

編集部

八木三男  
稲葉範子

山本勝一

「北から南から」

百姓仕事と俳句と

職員会議での涙のわけ

積善堂遺址の碑と異学の禁

小田金幸

神島直美

和田左苗

「特集」教師の大変さと学校

校長の「リーダーシップ」と学校

自由な研修ができる夏休みを

子どもたちのために教員に「余裕」を

教師の夏休みがなくなった

政府・文部科学省の教育政策 — 東京都を中心に —

研修承認による校長処分と教育改革

斎藤進

平田洋子

三ツ井富士夫

五十嵐淳

中田康彦

水上志伸

「特集」教師が輝くとき、輝かないとき

教師生活の憂いと喜び

Kさんへの手紙

教師が輝くとき、輝かないとき

子どもと学校の変化

武上宣一

杉原保雄

菊崎保泰

高松保夫

「憲法・教育基本法「改正」と戦後60年」

憲法・教育基本法「改正」問題の現段階(下)

成嶋隆

「随想」

不正義と反知性

「『コシヒカリの里・魚沼の研究』序にかえて」

魚沼についての研究成果を連載するにあたって

八木三男

土田光男

「北から南から」

異常豪雪の中で「春よ来い」

母

「田舎料理」の意味

桑原加代子

高木伸二

吉田武雄

「特集」「食育基本法」地域・学校

学校給食と地域農業の連関

「食育」基本法は食と農、教育と地域をむすびつけることができるのか

「国内食糧生産」重視を考えていない

鶴岡(山形)生協からの報告

大人と子どもが育つ「食」のとりくみ

食育と新潟の食文化

「食育」と学校教育

——食育の背景と課題を中心に——

姉齒暁

内山雄平

佐藤利津

吉田育子

佐藤幸也

佐藤幸也

地域の農家と結ぶ学校給食

五泉市教育委員会鬼立利則さんに聞く

編集部

自分たちの作ったものだけで三度の食事を作ろう

小学校の総合的な学習の時間の取り組み

遠藤 マリ子

健康な身体をつくる高校の「食」の授業

寺崎 洋子

食育と家庭の食生活

坂本 典子

戦後六〇年に思う

八木三男『権とロウバイ』によせて

牧 柁名

【随想】

競争と人間の本性 なんでも「競争」「競争」だね

八木 三男

【第七回会員制研究所全国交流研究会】

【講演】希望を託せる若者の力強さ

中越大震災救援活動の経験から

なかむらみのる

なかむら講演 活発な討議

軽井川南製鉄遺跡群（柏崎市）の保存運動

【『コシヒカリの里・魚沼の研究』（2）】

第一章 魚沼概観（上）

吉田 光男

899号 (2009・9)

【北から南から】

戦争の犠牲になった女たち

発達障害を持つ子ども達から学ぶ

米軍基地も核兵器もない世界を

松崎 道子  
新田 初美  
高橋 芳子

【特集】子供の安全を守ろう

子どもの安全を守ろう

子どもの人権をふまえた協働開放型の学校を創る

編集部  
喜田 明人

最近の子どもに対する犯罪事例年表（2000年～2006年5月）

小坂 邦男

文科省「学校の安全管理の取組状況に関する調査の結果」を読む

学校における安全管理の実態

片岡 弘

子どもの安全を守るために奮闘する自治体・学校・地域

妙高市・子どもを守る心の輪がひろがってゆく

—妙高高原地区—

本田 敏彦

子どもの安全を守るために奮闘する自治体・学校・地域

上越市・子どもたちが「安全マップ」を作った

—大町小学校—

本田 敏彦

子どもの安全を守るために奮闘する自治体・学校・地域

長岡市・児童安全パトロールを訪問しました

—新組小学校—

河合 靖久

子どもの安全を守るために奮闘する自治体・学校・地域

新潟市・子どもの安全を守る地域の輪

―笹口小学校―

小島 寿夫

子どもの安全を守るために奮闘する自治体・学校・地域

加茂市・子どもたちは宝の中の宝

―小池市長とスクールバス―

小坂 邦男

子供の安全に関する県教委の資料を読む

―本当は人間信頼を育む教育が大事―

内山 雄平

〔随想〕 なみちゃんの通学路

〔子どもを守ろう―現場から〕 ―『朝日新聞』の連載にみる―

八木 三男

〔親と教師の想い〕 地域の中で声掛け合って

〔親と教師の想い〕 本質は何か、根本は何か

とんでもない逸脱非行少年の内面に心を届ける

―信頼関係社会への道―

坂井 恵美

―生活安全条例を読む―

〔新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例〕の内容とその危険性

立石 由美

―生活安全条例を読む―

教育基本法改正は憲法改悪への一里塚

ヒサメユリの小径―わたしのおすすめハイキングコース

小島 喜孝

〔『コシヒカリの里・魚沼の研究』(3)〕

第一章 魚沼概観(中)

熊谷 直樹

〔北から南から〕

本物の味を求めて

合唱から学んで

手控え 昭和天皇の真意

〔つるべえの来たわが町〕

小林 良子

赤城 正男

八木 三男

杉本 敏宏

編 集 部

〔特集〕 新潟県の若者たち ―その生活と労働―

新潟県の若者たち―その生活と労働―

青年に働きがいある仕事を(『就職黒書』から)

非正規雇用と若者たち

若者の困難の背景にあるもの

現代の若者たち

若者たちのいま

―佐潟荘副院長・中垣内正和さんに聞く―

フランスの若者がなぜ改正雇用法を撤回できたのか

―日本の若者とどう違うのか―

仕事はなにをしたらいいの

片岡 弘

西澤 博

芳澤 拓也

碓井 真史

藤田 昭

福間 憲三

安達 孝

厳しい若者雇用の現状を聞く  
―「若者しごと館」を訪ねて―

小島 寿夫

新潟職業能力開発大学校嘱託  
村尾欣一さんに聞く・技は人を創る

―職人芸の指導者たちと学生たちの出会い―

本 田 敏彦

山田君枝さんが語る・ひきこもり体験でみえてきたこと

藤 田 昭

働く人たちの現実とそれに立ち向かう力

県労連弥彦学習会からのレポート

本 田 敏彦

長岡市のワーキングプア

―働いても働いても収入は生活保護水準以下の若者たち

河 合 靖久

〔随想〕現代のテロリズムについて

〔『コシヒカリの里・魚沼の研究』(3)〕

八 木 三男

第一章 魚沼概観(下)

土 田 光男

888号 (2006・10)

## 「改正」教育基本法案批判と新潟県の教育

### ―付、 「日の丸・君が代」強制違憲判決

巻頭言・日本の教育をめぐる二つの道

足 立 定 夫

東京地裁判決「日の丸・君が代」強制は違憲・違法―原告からの手紙  
「君が代」斉唱義務不存在訴訟の勝利を―解雇の裁判勝利にも

平 松 辰雄

東京地裁判決「日の丸・君が代」強制は違憲・違法

―原告からの手紙

片 山 むぎほ

予防訴訟第一審全面勝訴しました

〔随想〕「日の丸・君が代」強制は違憲・違法

「日の丸・君が代」強制訴訟東京地裁の判決(要旨)

声明・都の控訴は憲法尊重擁護義務(99条)に違反する

教育基本法「改正」が狙う教育の機会均等の崩壊

―高校現場からの告発

木 村 真悟

教育基本法はあるのか―新潟県の教育の実際

新潟市の「不登校未然防止プロジェクト」

―教育基本法「改正」を先取りした教育施策

西 伸之

教育基本法はあるのか―新潟県の教育の実際

教育基本法改悪がもたらすもの

高 橋 勇治

教育基本法はあるのか―新潟県の教育の実際

現行教育基本法にこそ、学校再生の鍵がある！

木 村 哲郎

教育基本法はあるのか―新潟県の教育の実際

「君が代」斉唱時不起立の処分に関して

新潟公立高組

高校教師

N

教育基本法「改正」案批判

教育基本法「改正」と教育の機会均等

三輪 定宣

教育基本法「改正」案批判

教育基本法改正と教育行政

三上 昭彦

教育基本法「改正」案批判

〔講演〕憲法・教育基本法改悪のねらいと勝利への基本方向

長谷川 英俊

新潟・農林水産「九条の会」第一回交流集会記念講演

われらは世界のまことの幸福を索ねよう（宮沢賢治）

— 生命・平和・農の心 —

三上 満

教育基本法・教育基本法「改正」案

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

池田 正

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

山崎 栄三

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

上野 健夫

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

吉田 武雄

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

安 保 サイ

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

佐藤 幸雄

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

石川 市郎

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

桂 宏子

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

須田 明子

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

菊地 一郎

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

時津 聖子

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

岩崎 久弥

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

竹前 篤

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

田邊 堯正

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

吉田 三男

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

雲尾 保喜

〔改定〕教育基本法について—市民からの手紙

田代 正夫

憲法・教基法改悪を阻止しよう—新潟県各地の運動

憲法・教基法改悪を阻止に向けて

—「教育基本法改悪をとめよう」新潟県連絡会

内山 雄平

憲法・教基法改悪を阻止しよう—新潟県各地の運動

新発田憲法センターの活動を中心に—

憲法改悪反対運動—これまでの取り組みとこれからのすすめ方—

高森 勉

憲法・教基法改悪を阻止しよう―新潟県各地の運動

糸魚川地域からの報告―

憲法・教育基本法改悪反対の運動

山下 勝

869号 (2007・3)

〔特集〕新潟県中越大震災と教育

―避難所になった学校からの発信

まえがき「新潟県中越大震災と教育」の調査・研究について  
中越大震災は、学校にどんな災害をもたらしたか

河合 靖久

1 「中越大震災における避難所としての学校の比重

― 3自治体（長岡市・小千谷市・川口町）の比較―

長井 芳朗

2 「中越大震災における避難所としての学校の比重

― 3自治体（長岡市・小千谷市・川口町）の比較―

長井 芳朗

3 「中越大震災における避難所としての学校の比重

― 3自治体（長岡市・小千谷市・川口町）の比較―

長井 芳朗

市町村の特徴

□「学校避難所」の施設・設備改善の課題

1 電気がなければ避難所は機能しない

本田 敏彦

□「学校避難所」の施設・設備改善の課題

2 救援物資備蓄体制を三者共同で再構築する

本田 敏彦

□「学校避難所」の施設・設備改善の課題

3 トイレ問題にたくさんの要望

本田 敏彦

□「学校避難所」の施設・設備改善の課題

4 被災情報、支援活動情報をスムーズにしてほしい

本田 敏彦

□「学校避難所」の施設・設備改善の課題

5 「学校の避難所を改善する」改善の糸口を探る

本田 敏彦

□「学校避難所」の施設・設備改善の課題

6 「学校の避難所」の施設・設備改善にどう取り組むか

本田 敏彦

□緊急避難所「学校」の役割と教職員のはたらき

1 学校の災害対策本部設置について

河合 靖久

□緊急避難所「学校」の役割と教職員のはたらき

2 学校の避難者への宿泊所の開放・生活問題

河合 靖久

□緊急避難所「学校」の役割と教職員のはたらき

3 避難所の情報伝達手段

河合 靖久

目 緊急避難所「学校」の役割と教職員のはたらき  
4 教職員の避難者救援活動

河合 靖久

目 緊急避難所「学校」の役割と教職員のはたらき  
5 避難所としての学校

河合 靖久

目 緊急避難所「学校」の役割と教職員のはたらき  
6 生き残るためにできることを

河合 靖久

目 中越大震災に直撃された子どもたち  
— 感想文集とアンケートを手がかりに—  
1 地震直撃—子どもたちの被災体験

藤田 昭

目 中越大震災に直撃された子どもたち  
— 感想文集とアンケートを手がかりに—  
2 アンケートに見る子どもたちの行動の考察

藤田 昭

目 中越大震災に直撃された子どもたち  
— 感想文集とアンケートを手がかりに—  
3 避難所での集団遊びや共同作業への参加が子どもたちにもたらしたもの

藤田 昭

目 中越大震災に直撃された子どもたち  
— 感想文集とアンケートを手がかりに—  
4 再び子どもたちの声に耳をかたむけたい

藤田 昭

目 中越大震災に直撃された子どもたち  
— 感想文集とアンケートを手がかりに—  
5 子どもたちの声を読んでみてわかったこと

藤田 昭

目 「予知」から「防災・減災」に軸足をかえる地震対策

— 本調査報告書を読む視点となる基礎的情報の一つとして

本田 敏彦

目 中越大震災と新潟の地震災害予測と防災

中島 哲宏

あとがき

〔随想〕—イラク国民の資産2兆3000億円の行方

八木 三男

元所員、故小熊 隆さんを偲んで

長崎 明

講演・高校学区廃止と子どもたち・親

太田 政男

新潟県の高校全県1学区について—基調報告と発表と討論—

編集 部

合併佐渡市の学校統合について

佐々木 秀明

平等—フィンランド教育の秘密

立石 由美

## 90号 (2007・6)

〔北から南から〕

ねこ騒動

坂井 希美子

専修学校から見た高校教育の現状

三ツ井 富士夫

一〇年の時 時は巡る

熊谷 直樹

### 〔特集〕いまこそ新しい「学校論」を

巻頭言・地域と共同して新しい学校像を

—校長・教育長のアンケートから導き出されるもの— 山崎 健

〔小・中学校 誌上座談会〕

校長・教育長アンケートからなにを学ぶか

編集部

教育的良心に励まされる―校長のアンケートの意見を読む―

小林 朗

―母親として先生方へお願い

棚橋 尚子

〔随想〕 「自己分析」と「ありのまま」

―校長のアンケート調査から考えたこと

八木 三男

市場原理の導入に抗して子どものための教育を目指す

川上 真紀子

神林村の教育行政と中学校の「いじめ・自殺」

竹内 喜代嗣

91号 (2007・9)

〔北から南から〕

がんばれ朝潮!

―拉致問題について思うこと

商売

山内 英男  
遠山 辰四郎  
八木 三男

〔特集〕 変わり行く学校と「学校論」

ある私立高校の校長先生に聞く

保健室からみた子どもたち

小学校はいま―ある小学校教員と事務職員に聞く

吉田 武雄  
菅井 敬子

〔小特集〕 改正教育基本法のもとで教育はどうなる

〔講演〕 憲法に則した教育を考える―教基法改悪が意味するもの

堀尾 輝久

改正教育基本法に立ち向かって

菊地 一郎

子どもの人権から見た「いじめ」自殺問題

横山 潔

―改悪教基法具体化・安倍「教育再生」プランをゆるさぬとりくみを

山口 隆

八木三男著『窓前の木の間から』に寄せて

三輪 定宣

続・平等―フィンランド教育の秘密―

立石 由美

新潟県の子どもの姿―断片―

用務員さんが語る今の学校

―給食調理員さんに聞く―

片岡 弘  
編集部  
小坂 邦男

「学校の給食」は温かいのですよ

教育三法の改定と学校論

新教育基本法の下での教師論

放課後の子どもたちの本音とその課題

この道がずっと続きますように

私の目から見た大学

成長をうながす我が高校

ぼくにとつての学校

初めて中学校で教えて分かったこと―英語教育―

天音 りん子  
小川 あかり  
青山 大幾  
時津 新吾  
桜田 英子

塾から見ての学校―小学校英語教育に関わって

「くまぐさ保育園」二十五周年を迎えて

教育再生民間タウンミーティング in 新発田

新発田から「教育再生の炎」を

「掌編小説」かわいのお客様

「資料室」①文科省通知

「問題を起す児童・生徒に対する指導について」

「資料室」②教育再生会議第1次報告要旨

斉藤 縁  
村尾 志乃芙

吉田 武雄  
片岡 弘

92号 (2007・12)

「北から南から」

冬の情景―朝の定時定点から

紙芝居は生きがい

市になった島

相馬 エイ  
宮本 徹  
菊地 一郎

「特集」行政主導の「数値目標」「評価」と学校

「評価国家」のもとにおける教育

校長・教頭も私たちが大きな負担―試行を体験して―

人間の絆を蝕むもの―教員評価制度のもと―

当校における「学校評価・教員評価」

小学校の子どもたちの実態と評価

八 鋏 友宏  
関 口 勝  
井 口 俊  
稲 村 一喜  
河 合 靖久

講演 埼玉の取り組み―「評価」を学校づくりに―

県教育委員長に聞く―学校評価・教員評価制度を―

今日の教員評価・学校評価とは何なのか

―学校が「不信」ではなく「信頼」の集まる場になるための道筋を考える―

「中越沖地震」留書（その一）

「随想」単純にして予測できる反応

―E・H・カントロヴィッチ『祖国のために死ぬこと』について―

地域風土にあった学校を―2学期制の再考―

〈教育実践シリーズ〉

「黒崎高校の教育」を振り返って（一）

息苦しくなってきた学校

―教育シンポジウム長岡―

どう受け止める子どもの心

「北から南から」

価格競争の果てに

映画「母べえ」をみて

竹下 里志  
内山 雄平  
久富 善之  
斉藤 義雄  
八木 三男  
河合 靖久・小島 寿夫  
小島 寿夫  
稲田 芳夫  
編 集 部

93号 (2008・3)

住安 孝夫  
細野 ヤエ

毎日、何していますか？

荒木

〔特集〕特別支援教育のいま

成長を続けて

たかしくんといっしょ

恵まれた出会いに感謝

母のサポーター日記

直也、マイヒストリー

自分のことが大好きな子に

〔講演〕よく遊び よく食べよく眠る

〔特別支援教育〕つて？

特別支援教育が必要な生徒を担当した1年

中学校での特別支援教育

県教育委員会 義務教育課 特別支援教育担当にきく

〔図書紹介〕茂木俊彦『障害児教育を考える』

〈ろう、盲、養護学校が、特別支援学校に変わって〉

重症児教育を通して

〈ろう、盲、養護学校が、特別支援学校に変わって〉

ろう児の発達についてく手話と集団の指導く

〈ろう、盲、養護学校が、特別支援学校に変わって〉

特別支援教育―新潟盲学校の今―

大野高明さんに聞く

内山雄平

〈ろう、盲、養護学校が、特別支援学校に変わって〉

特別支援教育の中で輝く寄宿舎教育の創造を

高橋誠衛

〈ろう、盲、養護学校が、特別支援学校に変わって〉

特別支援教育のセンター的機能とその課題

堀川孝明

特別支援教育から子どもの発達・人権保障を拓く

河合隆平

〈障がい者の共同作業所から〉

それでもしたたかに「大樹」は育つ

市川勝志郎

底辺から障害者福祉を考える

今泉浩二郎

〈教育実践シリーズ〉

「黒埼高校の教育」を振り返って(2)

小島寿夫

〔講演〕全国学力テスト・学習指導要領改訂と子どもたち

植田健男

「中越沖地震」留書(その二)

斎藤義雄

所長 故八木三男さんを偲ぶ

長崎明

94号 (2008・6)

「北から南から」

もう一つの甲子園

なかむらみのる

子どもたちの教育条件

野村紀子

米沢紀行

本山文雄

〔特集〕地域の姿と学校・子ども

地域の価値に学ぶ「子ども育ち」 境野健児  
地域と結び合う学校〜笠木小学校を訪ねて〜

小 板 邦 男 / 小 島 寿 夫  
地域と学校を結ぶ〜小須戸の町屋と子どもたち〜

小 林 朗  
農家の学び、地域に学べと 内 山 雄 平  
講演「とべ！緑の教室」

〜セカンドスクール〜東京・武蔵野市のとりくみ

山 内 英 雄  
財政難と教育効果を掲げる学校統廃合をどう考えるか 三 輪 定 宣

恩 田 卓 茂  
自律の町と学校統廃合を考える

自 立 の 町 、 津 南 町 で な ぜ 統 廃 合 か  
〜津南町教育長と保護者に聞く〜 大 滝 浩 道

学校統廃合は進む〜佐渡市教育長と保護者に聞く〜 吉 田 武 雄

いま学校給食を考える〜政令都市新潟市の例〜 鈴 木 知 子

『「閑適」のあとで』に寄せて

どう考える？小学校英語 牧 柁 名

〈読者からの声〉小学校の英語導入について 宍 戸 真 知

〈教育実践シリーズ〉 今 泉 浩 三 郎

「黒崎高校の教育」を振り返って(3) 小 島 寿 夫

地域経済の格差と青年の派遣労働 北 村 新

〈読者の声〉 相 原 昭 夫 他

93号特集「特別支援教育のいま」を読んで  
資料 「郡市町村の変遷・佐渡」

「北から南から」 山 崎 徹  
「新しいこと」と私が子どもだった頃 牧 野 秀 樹  
「教材が豊富で恵まれたいい時代ですね」

「特集」憲法と子ども・市民

新学習指導要領と子どもの学び 子 安 潤

座談会 「大学生は小中高で憲法をどのように学んできたか」 河 合 靖 久

小学校 小学生が憲法に出会うとき 中 学 校 私 の 憲 法 学 習 論

— 山口百恵の歌から男女平等を考える —

高 校 わたくしの日本史における日本国憲法の授業 小 林 朗

「講演」日本国憲法と農林水産業 五 十 嵐 公

十日町9条の会と私 暉 峻 衆 三

阿賀野市9条の会からのレポート 安 保 サ イ

映画「靖国YASUKUNI」を見て な か む ら み の る

「8月15日」は終戦記念日ではなく敗戦記念日だと子や孫と語り合いたい 本 田 敏 彦

平和憲法の底力 近 藤 明 彦

「随想」 時代はさまざまに「誤解」した

農民画家ミレーの絵をどう見るか  
裁判員裁判と教育

大滝 浩道  
斎藤 裕

不登校、そして登校（Ⅰ）

理科支援をめくって考える

八木 絹  
小林 昭三

子どもが主人公の学校

―世取山講演を聞いて―

藤田 昭

〈教育実践シリーズ〉

「黒埼高校の教育」を振り返って（Ⅳ）

小島 寿夫

## 96号 (2008・12)

「北から南から」

くたびれもうけ

県立図書館の変貌

大糸線・北陸線を守る運動

稲葉 範子  
小林 進一郎  
山下 勝

### 「特集」新潟県の高校再編の現状

高校再編の動向と学校づくりの課題

本県の高校改革の目的と課題

―県教委高校教育課に聞く―

誰のための高校再編なのか

―新潟県の高校再編を振り返る―

現場に高校再編を聞く

太田 政男  
編集部  
木村 慎悟  
大滝 浩道

初めての卒業生を送り出して

―村上中等教育学校 校長 平澤秀昭さんに聞く―

編集部

「高校入試がなかったらいいねえ」

―高校受験生をもつお母さんたちの座談会―

大滝 浩道

この人にきく

―新潟市歴史博物館長 甘粕 健さん―

内山 雄平

南京木屑（Ⅰ）

―中国の大学生―

菊崎 威

〈講演〉 畑田重夫さん「蟹工船と日本国憲法」を聞く

―私たちは今どう生きるか―

河合 靖久

大分県教育汚職事件が教えるもの

六年生が学んだ長岡空襲

中樞詳二・吉田武雄

不登校、そして登校（Ⅱ）

八木 絹

都教委通知

「挙手・採決」禁止に反対する理由

土肥 信雄

〈外国教育事情〉

デンマークかけあし研修

立石 由美

平等で競争のない子ども社会

武藤 雅文

「書評紹介」

『「閑適」のあとで』

足立 定夫

「北から南から」

ふるさととは、いま

満蒙開拓移民義勇軍

生活保護をめぐる報道から

飯田耕平

遠山武

相馬襄士

「特集」保育園の子どもたちはいま

子どもに痛みを押しつける

厚生省審議会「新制度案」を乗り越える

村山祐一

新大あゆみ保育園の「外部委託」

株式会社社の経営に移行しても勝ち取ったこと

丸山初代

保育所が変わる

―民営化が進む新発田市

佐藤真澄

保育の喜び、悩み、そして願い

―保育士のアンケート調査

内山雄平

アンケート結果から考えたこと

―就学前の子育てと食育

坂本典子

子どもたちが少しずつ増えています

―保育所無料の聖籠町を訪ねて

大滝浩道

小坂邦男

資料からみた新潟県の保育園・幼稚園

学校統合と市町村教育財政

―津南町の事例検討

境野健児

「報告」集会「土肥校長と共に学校に言論の自由を求めて」

吉田武雄

「小中一貫教育」導入の動き ―三条市―

武藤雅文

益川氏と小林氏のノーベル賞をめぐる

小林昭三

この人にきく② 嶋 悌司さん

この人にきく② 嶋 悌司さん

「掌編小説」

あそびの心理学

片岡 威弘

南京木屑(2)

―大学生と授業―

菊崎 威弘

「北から南から」

ふるさと佐渡に帰って

木喰仏に魅せられて

『「コシヒカリの里」わが魚沼―その光と影』の刊行に寄せて

田中 要

加藤 和雄

土田 光男

【特集1】子どもの貧困と教育を考える

子どもの貧困と教育  
 中学生に現れている経済格差  
 高校生の進学・進路保障  
 教育費が家計を圧迫する  
 私立高校の学費問題を考える  
 貧困の拡大と教育  
 なんでこんなに高いの

——新潟の教育費問題を考える

山口 隆  
 北山 紹  
 寺崎 洋子  
 渡辺 利弘  
 後藤 眞生  
 大滝 浩道

【報告】教育告発フォーラム

資料・教育緊急提言(抜粋)

全教・日高教・私教連

【特集2】教員免許更新制 なにが問題か

予備講習はどうであったか  
 教員免許更新制の経緯・現状・課題  
 資料・教員免許更新制の概要(文科省HP)

西 伸之  
 小林 昭三

トキと共生する縮つくり

佐々木 秀昭

映画『おくりびと』からのメッセージ

「思いやり(想像力)がかけていませんか」

このひとに聞く 杉みき子さん

本 田 敏彦

私の作品は風土との合作です

【書評】

『八木三男教育論集 新潟から日本の教育をみる』

タスマニアの高校から 1  
 三輪 定宣  
 本 田 貴文  
 南京木屑3 — 学生との草の根の交流—  
 菊 埼 威

99号 (2009・9)

【北から南から】

限界集落の叫び  
 霜 鳥 栄之  
 藤 井 武子  
 内 山 美穂  
 絵本よみボランティア  
 旅先で出会えた私の「家族」

【特集】定年後のさまざまな生き方

よりよい生活の質を実現する生涯学習  
 地域と環境を守る運動に取り組んで  
 私の有生之年

遊業不二  
 公民館の行方  
 海外ロングステイのススメ  
 高齢なりに楽しんで  
 通信制の芸術大学に通って

佐藤 一子  
 高野 武男  
 斎藤 剛  
 宮本 徹  
 菅原 賢明  
 小 林 正弘  
 赤 城 正男  
 大 滝 浩道

【資料】生涯学習案内

辺地にいきる

菊地 一郎

昔語りの青木さんを(旧) 山古志村・種芋原に訪ねて

河合 靖久

我が国農業を外国に譲り渡して良いか

内山 雄平

嘉村正規さんに聞く(1)

河合靖久・本田敏彦

都立三鷹高校土肥信雄前校長が都教委を提訴

八木 絹

〔書評〕

益川敏英著『科学にときめく』

小林 昭三

タスマニアの高校から 2

本田 貴文

南京木屑 4

菊崎 威

100号 (2009.12)

『にいがたの教育情報』一〇〇号の発行おめでとう

市民参加で新たな地平を

堀尾 輝久

にいがた県民教育研究所に期待するもの

三輪 定宣

各地の研究所から

石川・滋賀・静岡・信州・東京

各界から

岡野 勉・糟谷憲一・菊地一郎・小林 朗

田口 孝・土田光男・時津聖子・長 崎 明

那須高明・新田初美・野村紀子・三ツ井富士夫

八木 絹・八鍬友宏・吉田三男

歴代編集長の座談会

『にいがたの教育情報』創刊の頃

佐藤 賢・本田敏彦・吉田武雄  
(司念)片岡 弘

講演 見直したい学びの場・地域の教育力 境野 健児

地域からの報告 津南町・藤ノ木浩子／佐渡市・中川直美

境野さんの講義と地域の報告を受けて(討議) 編集部

小中学校統廃合アンケート調査から見えてきたもの

内山 雄平

憲法九条問題とソマリア「海賊」問題

成 嶋 隆

中越沖地震で被災した柏崎・刈羽原子力発電所の安全性

立石 雅昭

前東京都立三鷹高校長 土肥信雄さんの講演

小島 寿夫

「学校に言論の自由を求めて」を聞いて

北川 隆吉

二十一世紀を生きる子ども・青年・教師・親たちへ

「新しい時代を生きる人間として何が大切か」

嘉村正規さんに聞く(2)

聞き手 河合靖久・本田敏彦

地域と環境を守る運動に取り組んで(2)

高野 武雄

タスマニアの高校から3

本田 貴文

NPO「明日の教育を考える市民の会のその後」

吉田 武雄

靖国派の凋落― 新発田市

菊崎 威

南京木屑 5 授業は楽、かつ難しい

吉田 武雄

図書紹介 佐藤学『教師たちの挑戦』授業を創る

吉田 武雄

101号 (2010.3)

「北から南から」

外に目を向けてみれば  
湯沢町の小中一貫校  
本当に分かつてもらうことは

河津 明  
佐藤 守正  
長谷川 正

【特集】 **すすむ新潟県小中学校の統廃合**

全国および新潟の学校統廃合の現状と課題	山本 由美
佐渡の伝統文化を受け継ぐ小さな学校	編集部
佐渡「学校と地域を考える集い」から	編集部
統廃合せず、合同(G)授業で対応する小中学校	編集部
—宮崎・五ヶ瀬町—	
新潟市の小中学校統廃合計画を考える	内山 雄平
地域とともにつくる学校	小島 寿夫
新潟市立榑窪小学校	小坂 邦男・河合 靖久

明治中期の新潟における理科教育の源流(一)

〈講演〉山の暮らし再生をめざして  
インタビュー 新人先生に聞く①

緊張した保護者の学校批判  
この人に聞く④ 伊藤文吉さん

ふるさとの伝統文化を守るとりでに  
「みちくさ」のあった頃

南京木屑 最終回  
タスマニアの高校から 最終回  
地域と環境を守る運動に取り組んで③

「新潟の教育情報総目次」の編集を終えて

小林 昭三	青木 勝	大滝 浩道	編集部	山崎 健	菊崎 威	本田 貴文	高野 武雄	片岡 弘
-------	------	-------	-----	------	------	-------	-------	------

102号 (2010・6)

【北から南から】

全国学力テスト抽出方式でも競争は続く  
解雇は不当  
県北での「反核」署名運動

宮崎 孝司	赤井 くるみ	佐藤 啓
-------	--------	------

【特集1】 **6・3制を愛する小中一貫教育**

東京・品川区の小中一貫校の実態と問題  
—品川の教育改革の十年—  
京都市における学校統廃合と小中一貫教育  
新潟県の小中一貫教育の動き  
小中一貫教育の実施について  
県教育委員会義務教育課担当者に聞く

佐貫 浩	大平 勲	内山 雄平	編集部
------	------	-------	-----

【特集2】 **私立高校はいま**

授業料無償化法が成立しても  
私立高校の教育費負担は解消しない  
私学はなぜ高校授業料の完全無償化法の例外なのか  
私立高校の現場からの報告  
「授業料だけでも公立高校に比べて百万円もちがいました」  
—私立高校を卒業した生徒のお母さんの声—

大滝 浩道	沼波 易	編集部
-------	------	-----

就職も進学もできない生徒が急増している  
加藤 健児

この人に聞く⑤ 雲尾保喜さん  
「ありがとう……みんな」

さいごの学級通信「もつともつとげんき」から  
インタビュー 新人先生に聞く②

新潟市美術館問題をめぐって

新潟市議会「教入させの学校統廃合反対」を決議

図書紹介『本当の30人学級は実現したのか?』

明治中期の新潟における理科教育の源流(二)

土田 光男

山崎 徹

編集部

大滝 浩道

小島 寿夫

井深 雄二

小林 昭三

興治 文子

### 1003号 (2010・9)

「北から南から」

このよのものとは

9条の会・三条

人と人をつなぐことを大切に

高木 伸二

菊池 紀

長野 基氣

### 「特集」いま平和学習を考へる

中学校歴史学習 前近代史からの平和学習

伊藤博文と安重根

小林 朗

—伊藤博文「暗殺」をどう読み解くか  
沖繩戦の「集団自決」の証言をどう生徒に伝えたか

資料—『座間味旅日記』

長岡空襲の体験を次の世代に

随想・65年目のわたつみのこえ

熊谷 直樹

津田 憲一

津田 憲一

河合 靖久

大滝 浩道

教育現場での派遣労働は許されるか

—外国語指導助手(ALT)の偽装請負

職業教育を重視する最近の動き

高校授業料無償化が求める適格者主義の転換

最高裁は司法の良心を示せ

—「日の丸」「君が代」訴訟の現状

保健室の窓から①

初任者研修の現状と問題点

この人に聞く⑥ 本間 慎さん

新人先生紹介③

図書紹介

『生徒がくれた』卒業証書—元三鷹高校校長土肥信雄のたたかい

山崎 武央

内山 雄平

大滝 浩道

平松 辰雄

田口 孝

小東 由男

菊地 一郎

編集部

勝守 真知子

### 104号 (2010・12)

「北から南から」

学校統廃合と「適正規模」

映画「いのちの山河」にとりくんで

「教室にクーラーの設置を」と議会で質問

三ツ井 富士夫

横尾 一恵

丸山 孝博

### 「特集」佐渡の学校統廃合と伝統芸能の継承

伝統芸能を継承する佐渡の小さな学校を訪ねて  
—高千中学校 真野中学校 小倉小学校—  
子ども歌舞伎(佐渡の伝統芸能を教えて  
佐渡鷺流狂言を子どもたちに伝えて

編集部  
金子輝雄  
本間裕亨

佐渡の高校生の就職は、いま  
追悼 木村隆利さんを偲んで  
この人に聞く⑦ 平田大六さん

菊池哲明  
小林昭三  
編集部

新潟の風土を活かしたお酒と若者に夢を仕掛ける  
琉球処分と普天間問題

上地源光

いま一度、憲法25条を問い直す

霜野好克

「いのちの山河」上映の取り組み

China Report(中国短信)

日本語を学生に教えて

長谷川 実

保健室の窓から②

先生、からだって不思議だね

田口 孝

佐貫 浩さんの講演から

小中一貫教育はバラ色の学校教育改革か

小坂邦男

明治中期の新潟における理科教育の源流(目)

小林昭三

〔資料〕OECD「図表で見る教育」(2010年版)

## 105号 (2011.3)

「北から南から」

ブータン・ネパール紀行

本屋から考えた

泣き笑いの介護の日々

神蔵勝明  
諸橋武司  
渡辺みどり

### 「特集」教職員の「長時間過密労働」を考える

日本の教師の「長時間労働」の構造的要因を探る

久富善之

教職員の「長時間労働」を考える

編集部

保護者の方に聞きました

編集部

教員の「長時間過密労働」について

編集部

アンケートと聞き取りによる

編集部

先生のある1日

編集部

最近の高校生の就職事情

私の上越高校での経験(二〇〇九〜二〇一〇年)

山田雅晴

この人に聞く⑧ 関川 智子さん

水俣病の掘り起こし検診活動にとりくんで

編集部

新学習指導要領の本格実施と

学校づくり・教育課程づくりの今日的課題(上)

植田健男

地域の子どものゆたかに育てる教師の条件

内山雄平

地域と学校を結ぶ教育文化活動と教育諸条件

保健室の窓から③

田口 孝

元氣の出る朝ごはんを食べよう

小中一貫校の問題を考える市民集会(三条市)

小中一貫教育は「統廃合」推進のロジック

河合靖久

明治中期の新潟における理科教育の源流(Ⅱ)

小林昭三

図書紹介

興治文子

『佐渡に生きる—民主教育をめざして—』

吉田武雄

〔北から南から〕

多忙化解消 現場では限界

ベースボールと草野球

三条市の小中一貫教育と

一体型校舎建設に疑問

関口 勝

相川 正敏

武藤 元美

〔特集1〕地域の教育力と佐渡島の小さな学校

地域と文化と開かれた学校づくり

～子どもの育ちの経験の組織化～

佐渡の学校統廃合の変遷と今(II)

〔特集2〕東北大震災と子どもたち

東日本大震災と福島原発事故災害

『日本ガンバレ』南京からの応援メッセージ

原発なんてもうやめてくれと思うけれど

『東北大震災』と子どもたち

保健室の窓から④

中越大震災から学ぶ子どもたちの心のケア田口 孝

新たな保育システムの検討と公的責任

この人に聞く⑨ 高橋実さん

北越雪譜と私

新学習指導要領の本格実施と

学校づくり・教育課程づくりの今日的課題(下)

境野 健児

内山 雄平

小林 昭三

長谷川 実

加納 マスミ

河合 靖久

植木 信一

聞き手 小坂 邦男

河合 靖久

植田 健男

〔北から南から〕

できるだけ速やかに原発からの脱却を

原発事故と放射線量

学校統廃合が急にやってきた

星 真人

寺崎 紘一

修理 重一

〔特集〕いま語りつたえる

—15年戦争下の子どもたちの戦争体験

未来のための戦争体験継承

成嶋 隆

〔証言〕

池田 正／石黒ミサ子／大室 茂

長田 末作／小島 寿夫／小林進一郎

佐藤 健造／佐藤 守正／高橋 坦

那須 高明／西山文四郎／細野 ヤエ

松山 茂乃／吉田 三男

あの戦争は何だったのか

戦争に翻弄されたわが家

歴史の歪曲への反論

〔南京木暦〕日中友好と紫金草物語

こころと結成6周年

—憲法9条を守る阿賀野の会—

菊地 一郎

遠山 武

菊崎 威

稲垣 恵造

この人に聞く⑩ 立石雅昭さん

地層研究に生きて

聞き手 編集部

保健室の窓から⑤ 体育館のきまりを守る

福戸ハッピーレンジャー 参上！

田口 孝

108号 (2012・2)

「特集」地域に育まれる子どもと学校

―佐渡市の小中学校統廃合の調査報告―

伝統芸能を学ぶ

佐渡の子どもたちと学校統廃合

佐渡の自然と文化

編集部  
菊地 一郎

佐渡の市町村大合併と学校統廃合

一島一市に合併した佐渡市の学校統廃合

佐渡市の財政と学校統廃合

小中学校の統廃合は

どのようにすすめられてきたか

住民の地区代表として学校統廃合にかかわって

七浦地区はなぜ地元小学校をのこせたか

佐渡に暮して 若い親の子育て ―その1

都会と同化の動きは不安

辻 小夜

伝統芸能や伝統の技を学ぶ子どもたち

ルポルタージュ ―小さな学校を訪ねて

編集部

小村小(仕舞い)、大滝小(あだし)、川茂小(自然と民話劇)

小倉小(鬼太鼓)、真野中(鷺流狂言)、高千中(文弥人形)

新穂中(文弥人形・佐渡おけさ・裂き織り)

子どもたちに伝統芸能を伝える人々

佐渡鷺流狂言を子どもたちに伝えて

本間 裕 亨

佐渡の伝統芸能―歌舞伎を子どもに教えて

金子 輝 雄

郷土の芸能―文弥人形を小中学生と共に

川野名 孝 雄

わが集落の伝統芸能(鬼太鼓)

相田忠明さんが語る

―地域に根付く子ども鬼太鼓

編集部

わが集落(大和田)の伝統芸能「鬼太鼓」

上杉 俊 孝

鬼太鼓で繋がる集落(潟上地区)

菊池 哲 明

佐渡に暮して 若い親の子育て ―その2

栗生 真 弓

移って10年、3人の子どもたちは今

佐渡のトキと自然と子どもたち

トキを中心にした環境教育

編集部

子どもたちの生きもの調査―指導展開例

中島 明 夫

トキと共生する稲づくり

佐々木 秀 昭

佐渡市にみる住民主体の

地域づくりと暮らしの展望

伊藤 亮 司

佐渡の地域の文化と開かれた学校づくり

境野 健 児

「北から南から」

二〇年間の議員活動を振り返って  
お楽しみはこれからだ

樋口良子  
小野塚 恒男

「特集」原発事故と新潟の子育て

「安全神話」がいかに教え込まれてきたか  
柏崎刈羽原発を授業でどう扱ってきたか  
福島第一原発で起きたこと

小林昭三  
佐山浩三

科学的に考えることができる知識を  
「チェルノブイリ事故」災害の現実

和澄利男  
星 真人

柏崎刈羽原発の地元に住む若い母親の座談会  
巻原発を阻止できた住民運動を今思う  
放射能汚染から子どもの食の安全を守る  
雪国ではじける笑顔、

編集部  
佐藤博康  
立石由美

のびのび南相馬のこどもたち

飯田耕平

冬休み支援プログラムに参加して

安達 愛

学校の再生は住民とともに

吉田正美

福島の子どもの情報発信活動

—イギリスの大学で原発を問う—

本田貴文

福島に誇りを持って思うこと

—原発事故で晴れない毎日—

菅原宏一

原発財源が及ぼす柏崎市財政と地域産業の問題

宮崎孝司

このひとに聞く 田邊堯正さん

「社会科学に衣」—人々の苦難と宗教者

編集部

「土肥裁判」不当判決を許さない

土肥信雄

旧干溝小学校の子どもたち

斎藤尚志

図書紹介

『私が愛した東京電力』

高岡岑郷

「北から南から」

古希をむかえて

中島哲宏

核兵器のない世界は最上位の地球的公益

西 潟 昇

閉塞と焦燥のなかで・・・

高橋直榮

「特集」子どもの発達と保育

保育とはその子の人生に立ち会ふこと

牧 裕 子

講演 保育「新システム」で

どうなる、どう考える

小林 彰

安心できる子育てを探る

—子ども・子育て新システムの下で—

廣井茂道

新潟市の保育園の今  
佐渡市保育所の民営化について  
〔資料〕新潟県の幼稚園・保育園

小林陽子  
中川直美  
編集部

「この人に聞く」私のあゆんだ道

吉田三男

「いじめ問題」の問うているもの

木村哲郎

「講演」国際社会からみた

新自由主義教育改革(上)

世取山洋介

世取山洋介さんの講演を聞いて

高橋文子

放射性物質を含む広域処理問題を考える

野中昌法

新潟市の「震災瓦礫処理説明会」から

本田敏彦

「研究レポート」

新潟県上越市板倉区 国川の地すべり

高野武男

「南京木屑」尖閣諸島

菊埼威

「北から南から」

基督教独立学園に勤務して  
北陸新幹線開業で変わる公共交通  
成果至上主義とどう向き合うか

寺崎洋子  
杉本敏宏  
大塚勇

「特集」ありのままに今の子どもを見る

子どもを深く理解するために

子どもは遊びを失ったか

ある保育園での子どもたち

子どものをみる

今の中学生 く＼＼先生の実践から見た

新潟五中の生徒会のいじめ問題の劇を観る

〔資料〕県中央相談福祉センターの業務概要

茂木俊彦  
小坂邦男  
片岡弘  
河合靖久  
吉田武雄  
編集部

このひとに聞く

TPP・米の自由化に抗して

町田 拡

放射能汚染と子どもたち

いま、福島から伝えたいこと

境野健児

く事故の被害は真つ最中

子どもたちを放射能から守る

桜木稲穂

世界ネットワークを立ち上げて

本田貴文

「講演」国際社会からみた

新自由主義教育改革(下)

世取山洋介

体罰といじめを考える

近藤 明彦

新潟生存権裁判の原告とともに

小野 敬一郎

図書紹介『教育を拓く』

編集部

112号 (2013・6)

「北から南から」

俳句とわたし ―折々の句とともに―

地域の視点から教育を考える

生徒・父母の利益を守る教師

佐藤 直子  
菅原 賢明  
首藤 隆司

「特集1」いま語り伝える戦争体験

いま、憲法を「改正」することの意味

戦争はゴメンです

憲法と歩いた戦後を振り返って

新憲法のおかげだよ

十五年戦争の中での青春

私にとって戦後と憲法

二度の“転向”は許されない

憲法と歩いた私の戦後と戦中をふりかえって

「講演」明田川融さん

自民党の改憲構想と日米同盟

成嶋 隆  
板橋 育夫  
久保田 幸雄  
杉みき子  
島津 光夫  
なかむらみのる  
吉田 三男  
本間 慎  
編集部

このひとに聞く 石黒三沙子さん

八路軍の看護婦として

編集部

「町医者日記」から

望ましい終末医療を求めて

瀬賀 弘行

「特集2」過度の競争教育の実情を探る

「学力」による教育管理と競争のメカニズム 佐貫 浩

現場からの報告 小学校／関口 勝 中学校／小林 朗

子どもの声 佐藤公成／大桃茂朗／斎藤美鈴／鈴木春香

保護者の声 田 中 ゆり子

全国学力一斉テストと

「学力向上」対策の問題（弊害） 内山 雄平

3・11福島放射能汚染事故と

放射線防護の歴史を考える

福島で生きてゆくことを決意した

子どもたちへの支援

小林 昭三  
植木 信一

TPPの下で我々の生活はどうなるのか

伊藤 亮司

113号 (2013・12)

「北から南から」

糸魚川市原水協とともに

だれもが安心して学べる教育環境を  
相馬洋子先生のこと

萩原恵子  
竹島良子  
小島寿夫

望ましい終末医療を求めて

日本国政府にとつての『侵略の定義』

意見広告に1871人の賛同

故八木三男所長の蔵書を整理して

『書評』『先生、殴らないで!』

瀬賀弘行  
田邊堯正  
菊池紀  
大滝浩道  
山崎健

「特集1」子どもの貧困を考える

子どもの貧困と教育

私立高校の学費問題のいま

公立と私立高校に子どもを通わせて

貧困を高校生に見る

新潟の子どもの貧困を考える

「子どもの貧困」と教育の諸相

福井雅英  
渡辺利宏  
飛田麻理子  
星眞人  
編集部  
藤本典裕

「北から南から」

私のふるさと新潟

「先生まにあつたがね」

地球温暖化について思う

長畑龍介  
細野ヤエ  
高野武男

114号 (2014・4)

「特集2」7年目の特別支援教育

新潟県の特別支援教育の現状と課題

特別支援学級の今「小学校」

通級指導教室のいま「小学校」

特別支援学級のいま

特別支援教育の恩恵

高橋誠衛  
関口悦子  
平松亜矢子  
井上哲郎  
時津聖子

「特集」問われる子どもの学びの質と「学力」

子どもの主体的・自律的学習と

「まなび」の質

「学力向上」対策としてのWeb配信問題とは――

〈県教委に聞く〉

「学校訪問」各種テストの活用と学びの質を高める取組み

五泉市立村松小・長岡市立南中

「座談会問われる子どもの

学びの質と「学力」

教室から飛び出す子どもたち

本田伊克  
編集部  
編集部

長崎明(前理事長)を偲んで

ネパール教育事情

「町医者日記から」②

小林昭三  
半谷高紀

安倍流教育「改革」—

〈第二ラウンド〉の争点

福祉事務所から見た「子どもの貧困」  
この人に聞く 河辺昌子さん  
「講演」弁護士視点から

上村 正朗  
編 集 部

今の子どもを捉える

大津市立中学校いじめ事件と第三者報告書が明らかにしたこと  
「道徳教育の教科化」を考える

本田 清春

放射能汚染のなかで

子どもの被ばくと向きあう

境 野 健 児

「町医者日記から」③  
日本軍慰安婦問題と私たち

瀬 賀 弘 行  
川 上 真 紀 子

115号 (2014・7)

「北から南から」

論語と私  
古津八幡山遺跡のこと  
働く人の命守って

館 脇 壮 次  
高 山 怜  
坂 井 希 美 子

「特集」安倍「教育改革」がもたらすもの

「八重山教科書問題」についての考察  
教育委員会のあり方を考える

成 嶋 隆  
住 安 孝 夫

「資料」教育委員会制度に関する

教育委員へのアンケート

子どもの権利・教育・文化全国センター

日本近現代史の授業とセンター試験  
国定教科書『私たちの道徳』を読む  
新しい歴史認識を育てる

五十嵐 公  
小 林 朗

私の授業改革への一試案

津 田 憲 一

東書版と育鵬社版の

中学校歴史教科書を読む

小 野 塚 恒 男

「住民が主役のエネルギー」

ドイツ・デンマークに学ぶ

桑 原 加 代 子

在日コリアンの心を育みながら

—新潟朝鮮初中級学校をたずねて

編 集 部

この人に聞く／小林昌二さん

編 集 部

アベノミクス考 (一)

本 田 浩 邦

「町医者日記から」最終回

瀬 賀 弘 行

授業筆記等に基づく明治中期理教教育の再発見

―その源流・前進・後退・再構築の歩みに想う

小林昭三

自然観察の魅力と可能性を求めて

富樫繁春

渡辺治さんの講演

「安倍政権の改憲と日本のゆくえ」

編集部

30周年を迎えるの記念行事（お知らせ）